

2024定時社員総会・記念講演のご案内

懇親会開催のお知らせ

開催日時	2024(令和6)年 6月 22日 (土) 13:00 ～ 18:30								
受付	J号館5階ロビー 1) 12時30分より(社員対象) 2) 15時00分より(一般会員対象)								
開催日程	一部変更がある場合がありますのでご容赦下さい。 <table><tr><td>13:00 ～ 15:00</td><td>定時社員総会 J号館小ホール</td></tr><tr><td>15:30 ～ 16:30</td><td>記念講演 テーマ(仮称) 「ICTを通じて工学・医療・ スポーツが連なる人々の 健康を支える人材育成」</td></tr><tr><td>17:00 ～ 18:30</td><td>合同懇親会 J号館学生食堂</td></tr><tr><td>18:30</td><td>閉会</td></tr></table>	13:00 ～ 15:00	定時社員総会 J号館小ホール	15:30 ～ 16:30	記念講演 テーマ(仮称) 「ICTを通じて工学・医療・ スポーツが連なる人々の 健康を支える人材育成」	17:00 ～ 18:30	合同懇親会 J号館学生食堂	18:30	閉会
13:00 ～ 15:00	定時社員総会 J号館小ホール								
15:30 ～ 16:30	記念講演 テーマ(仮称) 「ICTを通じて工学・医療・ スポーツが連なる人々の 健康を支える人材育成」								
17:00 ～ 18:30	合同懇親会 J号館学生食堂								
18:30	閉会								

※日程は変更することがあります。直前の案内をご確認ください。



エデュケーションセンター

〈ご案内〉

2024年度の定時社員総会は母校寝屋川キャンパスで開催します。

友電会が法人化し、現体制の集大成を報告し、今後の友電会の方向性を確認する重要な総会です。

社員の皆様には、ご公私多用のことと存じますが、万障繰り合わせてご出席いただきますようお願い申し上げます。

また、次代のニーズに応える教育機関として、母校は2025年度4月に健康情報学部(認可申請中)を開設するべく準備をされています。皆様とともに大学の将来像を考えたいと思います。是非、ご参加ください。

最後に、母校に繋がる会員、大学関係者や退職教職員の方々との懇親会を企画します。盛大なイベントになるようご出席をお願い致します。

記念講演

医療工学専攻／理学療法学専攻／スポーツ科学専攻

2025年4月 健康情報学部 開設予定

ICTを活用し、工学・医療・スポーツの総合力で人と社会の健康を支える人材を育成する。本学の強みである実学教育と情報教育とのイノベーションが生み出す人材に社会が期待しています。

大学広報より引用

会員の皆様へ

一般会員の皆様は
記念講演からのご入場です。
必ず、受付を済ませて
ご入場ください。

ゆうでんかい

大阪電気通信大学友電会
大阪電気通信大学同窓会組織

YUDENKAI

The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University

No. 139

2024.3

全国絶景シリーズ3 滋賀県



早春の淡海、打出浜を望む 山口朝弘氏撮影

紫式部は石山寺(滋賀県大津市)から眺めた月を見て、源氏物語を綴り始めたと言われます。打出浜は、式部が越前赴任に伴い旅立った場所です。卒業生の皆様の前途に朝陽がさすことを、入学生の方々には、これからの大学生活をダイナミックに描いてください。友電会事務局(寝屋川キャンパスL号館)



下野哲生、吉岡睦、山口朝弘、平等路政治



元学長南茂夫先生の米寿を祝う会で



東海総支部(現東海支部)総会で

The blue Thunder Boys は、学生時代から今に至るまで活動している大電大同窓生バンド。大学のイベントや各地の支部に演奏に出かけ、会員との親交を深めてきた。継続は力なりです。皆様の夢実現を応援します。

卒業生・ 入学生特集

2024年(令和6年)3月23日〔土〕
【学位授与式】2024年(令和6年)4月2日〔火〕
学位授与式・入学式が
四條畷学舎「コナミホール」で挙

Contents

テーマ『Society5.0社会へ向けた発信』

02 卒業生へのメッセージ: 同窓会長 廣瀬 一夫

03 入学生へのメッセージ: 学 長 塩田 邦成

04 活躍する先輩たち紹介

- インテリアプランニングコンペ2020入選者
宮部 彰乃さん(2022年建築学科卒)
- 寝屋川キャンパスリニュアル記念イベントパネラー
谷原 徹さん(FPTジャパンHD取締役会長)

10 同窓会組織 友電会ってな～に?

- 同窓会費と納入方法/年間カレンダー
- 2023年度実施事業

11 大学・準会員支援事業

- 給付奨学金報告/貸与奨学金報告
- 卒業研究優良者へ友電会賞
 - 建築学科合同制作展/なわてん
- eスポーツ大会(電腦文化祭)
- ホームカミングデイ

18 友電会は学生活動を応援しています

- 課外活動表彰
- RPwellプロジェクト

20 一社法人へ本格的活動

- 一社法人友電会定款

29 母校だより ～ひろく視野と多様性～

- 海外語学研修/アマチュア無線でつながる世界
- 学生委員会からのメッセージ
 - 四條畷キャンパスイベント運営委員会
- 退職される教職員紹介
- 2023年度就職状況報告

41 お知らせ・お願い

- 法人理事、評議員の改選と任期
- 社員の勇退と新社員就任
- 住所変更手続き
- 卒業後も大学を利用しよう
- 支部活動報告

編集後記

情報技術が生活の隅ずみに行きわたり、あらゆるモノ・コトが情報と結びつく超スマート社会。情報教育をすすめる母校は時代の先端をゆく。

少子化時代を迎え、選ばれる教育を提供することが大学経営の柱となる。卒業・入学の季節、母校の強みを生かした電通大ブランドの人材像を思いながら本誌をまとめることにした。次の3項目は本学の中長期計画である。①社会的使命に応える実践、②社会の変化に対応できる学び、③専門の語学力や異文化を包括できる国際的視野の育成、今回はそれらに関わる記事を集めた。

友電会は、3年前、目標としてきた一社化を果たし事業を始動した。廣瀬執行部は、法人の土台作りに専念してきたが、いよいよ、友電会としてのMV²(Mission/Value/Vision)を掲げる時かと思う。会員58,000名が到達する将来像を共有し事業の推進をお願いしたい。(友電会事務局筆)

表紙題字「ゆうでんかい」は 故 田崎 秀夫 元学長著

ホームページ <https://yudenkai.or.jp/>

友電会への連絡はe-mailでお知らせください
友電会事務局 info@yudenkai.or.jp

2024年3月15日 第139号

発行所 / 一般社団法人大阪電気通信大学友電会
(同大学同窓会)

YUDENKAI The Alumni Association of
Osaka Electro-Communication University

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号
18-8 Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan
572-8530

友電会直通 / TEL.072-824-3111 FAX.072-824-1197

発行責任者 / 一社法人)友電会 廣瀬 一夫

編集 / 一社法人)友電会 事務局長 山崎 敏之

資料提供 / 学校法人大阪電気通信大学学務部、
および 同学事部、就職部ほか

寄贈先 / 大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会
並びに国立国会図書館逐次刊行物部 その他

印刷・発送 / 有限会社セイコー印刷社

❖近況報告

「ザ・ブルーサンダーボーイズ」と言えばご存じの方も多いでしょう。堺市出身で京都に移り、現在は毎日琵琶湖を眺めて過ごされています。表紙の一枚は、早春の琵琶湖を映したものとっておきの写真です。

学生時代からフォーク&カントリーのバンドを続けホームカミングデイや支部イベントにも出演。吉岡睦氏(奈良)、下野哲生氏(京都)、平等路政治氏(滋賀)らと京都の祇園でもコンサートをする現役バンドです。

多年のボランティア活動が認められ、京都市社会福祉協議会から表彰状が贈られました。好奇心旺盛な活動的な先輩です。



❖表紙写真提供者

山口 朝弘 氏(F05期) 滋賀県大津市在住

卒業生へのメッセージ

祝 辞

一般社団法人 大阪電気通信大学友電会
会長 廣瀬 一夫

卒業生の皆様 ご卒業おめでとうございます。
新入生の皆様 ご入学おめでとうございます。

私は本学同窓会組織である一般社団法人「友電会」会長の廣瀬一夫と申します。

卒業生の皆様は、友電会の正会員となられました。心より歓迎いたします。

皆様には社会の各方面で大いに羽ばたいてください。そのご活躍は在校生の励ましとなり、引いては母校の発展に寄与します。大いに期待しております。

しかしながらその過程では幾多の困難が待ち受けているかもしれません。その際はちょっと立ち止まり自らの歩みを振り返ることも必要です。

「初心がおろそかになったり、惰性になり必死さが欠けていないだろうか」、「自己を磨き続け、時代の流れを読んで歩いているだろうか」、「そういえば友電会という同窓のネットワークがあったなあ。」などと思い起こすことも一考ではないでしょうか。

友電会は1965年(昭和40年)に創立され、以来同窓は6万人近くの数を超える組織になりました。また、2021年(令和3年)には、より健全な運営を目指していわゆる法人法に基づく一般社団法人として設立しております。

このように友電会の器は整いました。これからは新進気鋭の皆様方からの参加を得まして、力強く充実した会の運営と大いなる発展を期待しているところでございます。皆様のご参加をよろしくお願い申し上げます。

さて、入学生の皆様。皆様方におかれましては我が国が必要としている人材育成の中核におられます。

母校ではICTに代表される最先端の学問を習得・研究することが出来、これを身に付けることで皆様には新たな未来が待ち受けております。

しかしながら、ICT技術は最先端であるがゆえに、その方向性がずれると本人にも我が国においても大きな問題を引き起こしてしまいます。歩む方向付けが間違っていないだろうか 日々チェックされ、変化の時代に柔軟かつ正しく対応するすべを身につけ、充実した学生生活を送り、大いに飛躍していただきたく思います。

皆様方の今後のご活躍、ご健勝、ご多幸を祈念し、ご卒業。ご入学に当たりご祝詞を申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

令和6年能登半島地震で被災された皆さま、ならびにご家族の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます

一社法人 友電会

震災地からのたより

私の実家(新潟市西区)が被災し、「準半壊」で罹災証明書が発行されました。石川能登半島は良く報道されていますが、新潟県も一万棟以上の家が被災に合っています。私の家は幸いにも住む分には支障はありませんが、石川、富山、新潟方面の被災に合った友電会の皆さんへのサポートよろしくお願いします。

友電会は、被災された友電会員の皆様の安否を心配しています。支援がしたいと考えていますが、被災者の方々の状況が分かりましたら、友電会迄一報ください。よろしくお願い致します。

祝 辞

学校法人 大阪電気通信大学
学長 塩田 邦成

卒業生・修了生の皆さん、卒業ならびに修了、誠にありがとうございます。あわせて、ご家族をはじめ、関係者の皆さまにも祝意を表しますとともに、日頃の本学へのご支援、ご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

皆さんが入学、在学されたこの数年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、社会は大きな変化を余儀なくされました。皆さんの生活も一変し、授業がすべてオンラインでの開講となったり、様々な制限の中で取り組もうとしていたことが果たせなかったり、不安や焦りのなかで過ごした日々も多かったことと思います。それでも皆さんが多くの困難を乗り越え、自分の目標に向かって日々の努力を積み重ね、卒業、修了を迎えられたことを大変うれしく思います。

この間、当たり前だと思われてきた生活や常識は一変しましたが、それまで気づかなかった新しい価値観や生活様式、従来にないビジネスが展開されることとなりました。物事の捉え方次第で、周囲の環境や景色を変えていくことができます。本学は時代のニーズにマッチした確かな技術力と人間力を身に付け、社会で役立つ人材を育成・輩出することを使命としています。本学で学ばれ、本学で成し遂げられたことに自信を持って、新しい世界へ思い切り羽ばたいてください。

各方面での皆さんのご活躍を心より応援しています。

そして、新入生の皆さん、ご入学ありがとうございます。ご家族、ご関係者の皆さまにも、心よりお祝い申し上げます。今年度の入学式は、5年ぶりにご家族、ご関係者の皆さまにもお越しいただくことができ、共にお祝いできることを大変うれしく思います。

皆さんの高校生活、受験期間もコロナ禍の中で苦労や不安が絶えなかったと思いますが、これから始まる本学での学生生活では、皆さんの思い描く学生生活が送れるよう、教職員全員で支援していきますので、安心して新しいことに挑戦し、大いに探究心を深めてください。

本学は2024年度に新たな学部となる建築・デザイン学部を開設し、また、教育改革の取り組みとして全学的にカリキュラムを改定し、1コマ90分15週授業としていたものを105分13週授業としてスタートさせます。授業を105分間にする事で、ディスカッションやアクティブラーニングなど、これまで以上に柔軟な授業展開が可能となり、多彩で魅力的な授業をより一層拡充します。また、現状と同じ授業時間を確保しながら、授業期間を短縮することで休業期間に海外留学、インターンシップ、ボランティア活動など課外活動にこれまで以上に活発に取り組める環境が整います。皆さんは、本学のこの大きな変革期の第1期生となります。

皆さんの新しい学生生活が夢と希望に満ちたものとなるよう心より応援しています。

最後になりましたが、本学は今期で60期の卒業生を社会に送り出します。現在、5万7千名を超える卒業生が社会で活躍しています。卒業生は、同窓会組織となる友電会の会員として現在も繋がっています。このネットワークの益々の発展とともに、あらたに会員となられる卒業生、修了生のみなさん、将来会員となられる新入生の皆さんの益々のご活躍、そして友電会会員の皆さまの益々のご活躍をお祈りします。



活躍する先輩たち紹介

先輩訪問／インタビュー記事

活躍する卒業生

建築学科の開設

母校に建築学科が誕生したのは2018年4月、15年ぶりに新学科として誕生した。持続可能な社会の実現をめざし、人と環境に配慮した建物・まちづくりや社会に貢献できる建築家・建築技術者を育てることを使命に設立された。将来につながる建学の学舎としてイノベーションスクエアが完成したが、エディケーションセンターで囲まれたOECU広場(2023.秋竣工)は、同学科一期生がデザインした。(会誌138号に掲載)

翌年、二期生として宮部彰乃さんが入学する。

夢と現実・出会い・求道・主体的であれ

2019(令和元)年4月、大阪電気通信大学工学部建築学科(二期生)へ入学した。近年、女子大学にも工学部ができる時代だが、本学科に入学した女子学生は全体の1割ほどで何をするのも女同士で行動したという。

ところが、同年12月COVID—19が感染拡大し進級した年の入学式は中止、異常事態となった。授業もオンラインとなった。

2年目の生活を期待していただけに目標を見失いかけた時、コンペに出会った。

幸運にもコンペで入選し、デザインの道を究めたいと強い気持ちが固まった。(2年)



「Shade of tree」

木材で作られた六角形のインテリア「光」と「高さ」により空間を表現

「第3回 インテリアプランニングコンペ2020」
主催：日本インテリアプランナー協会(JIPA)

インテリアプランナーを目指す若手の育成と活躍の場を創出する目的で開催

先達との出会い

デザイナーとして自立する夢を追いかけていた頃、北澤誠男先生を知った。

コロナで大学への通学は叶わず、自分で見つけてきたコンペに応募する。インテリアプランナーを目指す若手の活躍の場として設立されたコンペは、本人にとって挑戦の機会となった。大学3年時からは北澤ゼミに在籍し、本格的にデザインを学び始めた。「コロナで十分学べなかった」との思いが彼女の一徹さに火をつけてのめり込んでいく。

北澤先生は、彼女のことを「芯がしっかりした学生でした。助言をすんなり受け入れる学生ではありませんでしたね。」と評されていた。



建築学科卒業制作展に出品

音楽と建築の融合

テーマは「musicitecture」

[学生生活の集大成]

「忙しく時間が過ぎる今の時代に、様々な人にとっての居場所を作りたい。音楽を建築で可視化する。そこにあるのは目的、用途のない自由な空間だ。音楽を創造したこの空間で人生を想像する。」

(4年)

中之島中央公会堂ホールで開催した卒業制作展が学生生活の締めくくりのはずだった。



素直に自己表現・道を究めたい

ミライ REBORN スマイ プロジェクト ～医・食・住でミライの健康な都市生活～

主催／公益社団法人全日本不動産協会
共催／公益社団法人大阪府建築士会

●テーマ(趣旨)

時は2050年、ポストSDGsの世界。DXも加速し、都市構造や交通システムなどが進化していく中で私たちは心身と

もに健康であるWell-beingな生活やそれを包む空間を手にすることができているでしょうか。

REBORN スマイ プロジェクトは、未来社会を担う子どもたちへのメッセージです。

将来への夢や希望、魅力の感じられる都市や住空間システム、生活像を描いてください。

〈応募登録期間〉2023年1月12日～7月31日

〈募集部門〉学生・一般の部

引用：同プロジェクト 募集要項から

※お断り：一部割愛して記載しています。



EXPO25へつながる夢

このプロジェクト審査・表彰式は、北澤准教授が設計したナレッジシアターで行われた。出会うべくして出会った子弟ということか。なんて不思議な縁であろう。

最終審査の結果、
【学生・一般の部】で佳作を受賞した。

北澤 誠男 准教授談話

「我が学生は、真っ直ぐな眼差しと、素直な気持ちを持つ学生ばかりですが、何かと自分を過小評価しがちです。

しかし、少し背中を押して、思いを形にする楽しさを一緒に共有すれば、どんどん成長していきます。純粋にモノづくりを楽しむ自ら進んで向かえる場を創ることが今後大きな財産になると思います」

抜粋：大阪電気通信大学HPより



日本国際博覧会 大阪・関西万博開催

2025年4月13日に大阪市の夢洲で開催予定されている。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ超スマート社会(society5.0)の実現に向けた数多な情報が発信される。

さて、様々な業界が出展・協賛する中で注目したいパビリオンがある。

「大阪ヘルスケアパビリオンNest for Reborn」だ。新駅「夢洲駅(仮称)」に近いらしい。

ミライ REBORN スマイ プロジェクト 入賞作品の展覧が決定

このパビリオンにコンペで入賞(佳作受賞)した大電大OGの宮部彰乃さんの作品が展示される。

展示用3DCG映像等の作品を共創(翻訳・制作)し、公開

する企画だという。

大阪万博は関係ないね!と思っていた私も彼女の作品をぜひ、観に行きたいと思う。

友電会関係者の皆さん、大学関係者の方々、
2025年4月開催には大勢で行きましょう。

また、これから入学してくる建築・デザイン学部の学生も先輩の作品を観て将来の目標としていただきたいと思う。

卒業制作作品にブラシをかけ直して参加した作品が、今注目されている。多忙な日々を過ごす彼女から後輩の入学生へメッセージを寄せてもらった。

入学される皆様へ

「今回制作を行った『musitecture』の裏テーマは学生生活の集大成です。私のこれまでの22年間を振り返ると、学んできたものは音楽と建築でした。」

「大学生活、何にでも挑戦することが自分の興味・関心を見つけるきっかけになると思います。

そして、最後にこれまでの自分の経験を振り返り、形にしてみると、今後長い人生の励ましになるのかもしれない、。」

「沢山の刺激を受け、価値観や視野が大きく広がった4年間でした。」

「大切に思う先生、仲間と出会えたことが何よりの財産です。」

2024年2月

宮部 彰乃

【参考資料】

会社名／三協フロンティア株式会社
SANKYOFONTIER CO.LTD
設立／1969年12月5日
資本金／15億4,545万円
株式／東京証券取引所スタンダード市場
本社／千葉県柏市新十番地
事業内容／(1)ユニットハウス製造・販売・レンタル
(2)トランクルーム製造・販売・レンタル
従業員／約1,515名(2024年2月1日時点)
※御社HPを参考にさせていただきました。

2023年4月就職して現在に至る。

【取材あとかき】

最後に
波にもまれてモノは磨かれていく。人もまた同じ。その
時々を真剣に生きていたからこそ将来への道が拓かれる
ことを、取材を通じて思った。
人と人との縁とは面白い。偶然ではなく、必然なのかと
思ってしまう。社会人2年目、本業の傍らで
研究を続けている。まだまだ、無限の伸びしろをもつ人に出
会わせていただいた。感謝



北澤 誠男

- 所属部署
工学部 建築学科 准教授
大学院 工学研究科 建築学コース 准教授
- 研究テーマ
建築設計／建築計画／建築材料／インテリア
- 学位など
一級建築士／インテリアプランナー



宮部 彰乃 さん（2023年3月建築学科卒）

■プロフィール
2023年4月、三協フロンテア株式会社入社。
千葉県柏市本社で研修後、設計部門に配属。
現在は大阪支店で会社事務所や店舗の設計に携わっている。



学園創立80周年記念事業
寝屋川キャンパス・
リニューアル記念イベントが開催される

2023(令和5)年11月9日(木)、寝屋川キャンパス・リニ
ュアル工事の報告会が開催された。
冒頭、大石利光理事長から改築工事支援のお礼と
OECUイノベーションスクエアに象徴される大学の建学方
針が述べられ、式典が始まった。

《第1部》
【講演】「これからの
大学教育に期待する
こと」

廣瀬慶輔氏(寝屋川
市長)は、先行きが見え
ない不確かな時代に
あって、本学のイノー
ベーション教育により生み出
される新しい価値とグ
ローバルに活躍する人
材に期待していますと祝辞を述べられた。



《第2部》
【シンポジウム】「これからの大学教育と人材育成」



Society5.0-予測が難しい超スマート社会に対して、本
学はいかに進んでいくか、さまざまな知見をお持ちの方々
を招きパネルディスカッションを開催した。
兼宗進副学長が座長役を務め、登壇者の見識を引き
出した。同窓生からはFPTジャパンHD取締役会長 谷原
徹氏が招かれ登壇した。

寝屋川キャンパス・リニュアルの感想は…
谷原：コンペティションにて学生が意見を出し合い完成した

寝屋川キャンパス・リニュアル記念イベントの日程	
《第1部》	
13:30～13:35	大石理事長挨拶
13:35～13:55	講演 「これからの大学教育に期待すること」 寝屋川市長 廣瀬 慶輔 氏
14:00～14:40	「これからの大学教育と人材育成」 パネラー 寝屋川市長 廣瀬 慶輔 氏 FPTジャパンHD取締役会長 谷原 徹 氏 ㈱エグゼディ人材開発部長 石川 潤一 氏 大阪電気通信大学学長 塩田 邦成 氏
《第2部》	
14:55～15:05	OECU広場コンペ最優秀者講演
15:10～15:40	新学舎見学及び広場見学



キャンパスに後輩
たちの“若い力”の
素晴らしさを実感
しています。また、
自由な発想にてイ
ノベーションを起
こすに相応しい場
であると認識して
います。



少子高齢化が
進む日本において、
この新しいキャンパスにて多様性を重視した外国人留
学生の受け入れもおこない、グローバルに活躍できる人材創
出の場とならんことを期待しています。

社会が期待する大学の人材教育とは…
谷原：イノベーションの源泉は「知」と「知」の組み合わせが



重要」だと考えている。

両利きの経営とは、「知の深化」と「知の探索」を両輪で運営していくことが必要であり、目先の成果に捉われず、中長期的に物事を捉える人材を求めています。その為には、変化に俊敏に対応できる大学の文化醸成や風土改革の必要ではないか。

Geopolitical-Riskにより、社会環境が複雑性を増し、イノベーションのジレンマや矛盾を感じ、何が正解か分からない現状では、まず、アイデアが涌いたら実行し、その結果から議論を展開し、社会に貢献する価値を創出することが大切です。そのためには、現実目に向け、自らが変革に取り組むことができる人材が評価されると考えています。

さくいん

●Geopolitical-Risk：地政学的リスク ●TCFD：気候関連の情報開示及び金融機関の対応を検討する設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース」
●IT (Information Technology)：情報技術 ●OT (Operational Technology)：制御・運用技術

■プロフィール

FPTホールディングス株式会社 取締役会長 谷原 徹氏
(非常勤) ●住友商事 DX推進アドバイザー ●SCSK シニアフェロー

座右の銘 「至誠惻怛(しせいそくだつ)」：まごころと痛み苦しむ心があれば、やさしく接する事ができる
「笑顔は最大の化粧」：どれだけ繕っていても、笑っている姿が一番素晴らしい

■経歴

1982年本学電子機械工学科を卒業、日本のIT産業のリーディングカンパニーであった(株)CSKに入社し、キャリアをスタートさせる。

16年間は技術者として銀行の第三次オンラインのシステムプログラマー等に従事し、以降は製造、流通部門で主要な役職を経験。2011年住商情報とCSKの合併を経て、2016年SCSK株式会社代表取締役社長に就任。

6年の社長任期を全うしシニアフェロー兼、住友商事の顧問としてICT・DX推進アドバイザーに従事する。昨年4月よりFPTジャパンホールディングスの会長として、日越のコラボレーションによりお客様に価値あるサービスを提供できるよう、役職員が一枚岩となり取り組む環境創りに注力している。

社会人のリカレント教育や地域との連携に対する考えや大学への期待は…

谷原：学校教育から離れた後も、自身の能力を磨き続けることが、ますます重要になっています。

社会人の学びの場を提供する国の支援には大きな期待を寄せています。

昨今、企業では財務情報よりも非財務情報の開示が評価される時代に入っています。

TCFDを宣言したプライム市場やスタンダード市場では、CO²の輩出削減に留まらず、人的資本が叫ばれ、ますます人材への投資が重要になっています。

一方、企業はリスクに注力していますが、リスクとは、いまの仕事に必要なスキルを磨くことではなく、これから生まれる新しい仕事、ビジネス変革に適応できる新しいスキルを獲得することを目的にしています。その実現に向け、新しい仕事を提供する環境を用意することも経営課題として取り組む必要があると考えています。

少子化時代を迎えた大学経営のヒント

谷原：IT (Information Technology) とOT (Operational Technology) を融合したサービスが求められている時代であり、本学にはITだけではなくOTの教育環境もあり、まさにこれまで実現しなかったサービスの創出が可能であると考えています。

Automotive (EV/ADAS) やBanking (Web3)、DX/GXなど、新しい日本のモノづくりを担う人材の創出に大いに期待しています。



同窓会組織 友電会ってな～に？

卒業・修了の皆様、おめでとうございます。

一社法人友電会は、発足以来60年が経ち、58,000余名(2024.3月現在)の会員が在籍しています。

終身会員

主には、会員相互の親睦を図ることおよび母校の発展に寄与する事業を行っています。

同窓会費は、ご入学時に終身会費20,000円を納入いただいています。本会は、皆様からの原資によって会員や準会員(学生)への補助支援事業をしています。

また、卒業後3年間は、友電会とのつながりを保てるように友電会誌をお送りしています。

本会は、ホームページや会誌を活用して情報を発信しています。会誌は、年2回(3月と10月)に発行していますが近年、宛所不明で返ってくるが増えました。

卒業後住所を変更されましたら、必ず、転居先のご連絡をお願いします。

住所変更メールフォーム
読み取ってお送りください。



住所変更にご協力ください

年間カレンダー (2023年実績)

本会は、会員の中から社員(代議員制)を選出し、会の目的を達成するため理事会を設けて事業を執行しています。社員総会は年1回開催します。母校の様子を見がてらお寄せください。

是非、卒業生の方々も参画をお願いします。
おおよその事業は次の通りです。(令和5年実績)

- 4月 ・第1回理事会(対面式会議)
- 5月 ・医療福祉の会支部総会/第1回支部長会
・第2回理事会(対面式会議)
- 6月 ・定時社員総会
・電建会支部総会
- 7月 ・60周年記念品贈呈式「掲揚ポール贈呈」
・関東総支部・千葉支部総会
・友電会60周年記念
ワンダーフォーゲル部OB会上高地キャンプ

- 8月 ・第3回理事会(対面式会議)
- 9月 ・第4回理事会(WEB会議)
- 10月 ・神戸支部/大阪支部/北関東支部総会
・東海支部/京都支部/茨城支部総会
・九州支部総会
・第5回理事会(WEB会議)
・友電会誌「ゆうでんかい138号」発刊
- 11月 ・ホームカミングデー
・法人評議員選挙
・eスポーツ大会「電脳文化祭」
・第6回理事会(対面式会議)
・奈良支部/神奈川支部/びわこ支部総会
- 12月 ・東京支部総会
- 1月 ・第7回理事会(対面式会議)
- 3月 ・第8回理事会(対面式会議)
・友電会誌「ゆうでんかい139号」発刊

卒業生の皆様には就職された地域で、新生活を始めた入学生の方々も是非、全国に設置の支部につながり、電通大の絆を深めましょう。

全国にある友電会支部

【関西地区】大阪支部、京都支部、奈良支部、びわこ支部、神戸支部

【中部地区】東海支部 【九州地区】九州支部

【関東地区】関東総支部、北関東支部、茨城支部、神奈川支部、千葉支部、東京支部

【特別支部】医療福祉の会、電建会、ワンダーフォーゲルOB会 計16支部

連絡をとりたい方は、友電会のホームページまたは寝屋川キャンパスにある事務局(1号館)
TEL. 072(824)3111へお願いします。

大学・準会員支援事業

本会は、次のような支援事業を行っています。

- クラブ活動助成金 ●給付奨学金 ●貸与奨学金
- 短期貸付制度 ●卒業研究優良生に贈る友電会賞
- 大学祭への資金援助など

皆様からお預かりした会費は、学生の皆さまの活動支援を行っています。

ご理解をお願いいたします。

同窓会では、勉学と課外活動にがんばる学生を応援する給付奨学金制度を設けています。2023年度も厳選な選考により5名の学生に学費相当の援助を行いました。彼らが、この1年をどのように過ごしたかをレポートしてくれました。新入生の皆様へのメッセージとしてご一読ください。

「ボランティアに熱中」

医療健康学部
健康スポーツ学科
松岡 咲綾 さん

友電会の給付奨学金をいただいて、正課の授業受講以外にアルバイトをしながら自分のために使える時間が増え、これまでに以上にボランティア活動に熱中することができるようになりました。

ボランティア活動では、青少年施設に大学生ボランティアが集まり、幼稚園児から中学生までの子どもたちや一般の方々に海で行うレクリエーションやスポーツの指導・サポートを行っています。

また、施設が企画している子ども向けのキャンプ(1泊2日または2泊3日)は、プログラムを考え、一つひとつの活動例えば、自炊では何を作るかといったことを大学生ボランティアが中心となって計画をして、子どもたちと実際に活動を行っています。

様々な大学から人が集まり、たくさん話し合いながら活動を進めるため、ボランティア同士の仲が深まり、活動の日以外にもしゃべるような友だちが増えました。おかげで学業だけでなく、課外活動にも熱意を持って取り組むことができとても充実した大学生活を送っています。

是非、後に続く準会員の皆さんも友電会給付奨学金を活用して短い大学生活を楽しんでください。



「多様性を感じ、生きる力を伸ばした大学生活」

電気電子工学科
上田 美優 さん



私は1年生の夏から生協学生委員会に、2年生の頃から数学サークル(現:数学部)にも所属し、4年生では学生ボランティアと大学生協連関西北陸ブロック学生事務局としても活動していました。新型コロナウイルス感染症の影響で入学式も中止、大学2年生前期まではまともに大学に通えませんでした。そんな状況下だったからこそ大学生活を有意義に過ごしたいという想いが強くなり、課外活動に力を注ぐようになりました。

生協学生委員会では、3年生の9月まで副委員長として活動していました。大学内の他委員会との繋がりもあり、お互いに企画運営の協力をするなど学年や所属団体の垣根を越えて関わることができ、大学内でのコミュニティが広がりました。また、生協学生委員会は各大学生協管轄の学生団体なので、他大学の生協学生委員会メンバーとも沢山交流することができました。学内外での活動をしていく



中で、関西北陸エリアにおける各大学生協をサポートする役割である学生事務局の打診を受けました。学生委員会は学内での活動でしたが、学生事務局では各大学生協の事業面や学生委員会の支援、交流会・学習会の企画運営、一般企業の方と事業を行うなど活動の幅も広がり、より責任を持って活動に取り組めるようになりました。企画運営は大変でしたが、職員や企業の方、仲間と協力することの大切さ、やり遂げることの難しさを学ぶことができました。

数学サークルの普段の活動とは別で本学1年生へ基礎科目を教えるボランティアもしていました。自分自身の躓いた箇所を思い出し、学生の気持ちに寄り添うことで、一人ひとりに応じた対応を取るものの大切さを実感することができました。



また、学生ボランティアでは、小中学生の不登校児童生徒の支援、大阪電気通信大学高等学校で期末テスト対策として自習室チューターをしました。教員を目指していたので、教育現場を知る機会としても大変勉強になりました。歳の近い学生だからこそ子どもたちにとって、話しやすいこともあります。今の子どもたちがどんなことを考えていて、何に興味があるのか、何に困っているのかを知ることができ、大変貴重な経験となりました。

課外活動の経験を通して様々な年代の方と関わることで多様性を感じ、コミュニケーション能力やタスク管理能力など沢山のことを学び得ることができました。課外活動をしながら、授業やアルバイト、教育実習や教員採用試験の勉強などをこなすことは大変でしたが、生きる力を育み成長することができたと感じています。私は4月からは中学校教諭として働きます。とても不安ですが、大学生活で学んだことを活かし、生徒たちと一緒に成長していけるよう励みたいです。

最後にはなりましたが新入生のみなさんへ。大学入学おめでとうございます。やりたいこととことん挑戦し、充実した大学生活を送ってください。素敵な4年間になりますよう応援しています。

「一期生の誇りをもって」

工学研究科 建築学コース 武田 剛 さん



私は大阪電気通信大学建築学科の一期生として入学しました。現在では大学院に進学し、研究を主体に取り組んでいます。修士二年生となり、大学で過ごした約6年間で取り組んできたことを振り返るとともに、これから入学する入学生のみなさんの学生生活の参考になればと思います。

大学では授業での「学び」と、課外活動や授業以外での経験などで得られる「学び」があります。授業以外での学びは自ら進んで取り組むことが大切です。単純に取り組むだけでなく、「なぜ取り組むのか」「そこから何を得られるのか」をしっかりと意識して取り組む必要があります。日頃からしっかりとアンテナを張ってチャンスをつかむ、そしてやってみる、その繰り返しで様々なことに取り組んで自分の経験値を積み、研究などに活かしていくことが大切だと思います。

■大阪電気通信大学広場コンペティション

大学内に広場を設計するという事でコンペティションが開催されました。私はチームで参加し、代表を務めました。最終的には最優秀賞に選ばれ、提案した設計をもとに広場が完成しました。自分たちが考えたアイデアが形になったときは何物にも代え難い喜びをおぼえました。提案が選ばれた一つの要因として、設計の提案を審査員に魅力的に伝えることができたことがあげられます。それは、これまで積極的に参加してきた学外のコンペティションで培ったプレゼン技術を最大限に活かして挑んだ結果だと思っています。

■モルタル系3Dプリンタのベンチのデザインと制作

大学内にベンチを制作するという事で私の提案した案が選ばれ実際に制作しました。最先端のテクノロジー



であるモルタル系3Dプリンタを用いてベンチを制作するという事で大阪電気通信大学らしい取り組みでした。

これは修士研究の一環でもあり、学会での発表も行いました。もともと最先端のテクノロジーを学べる本学に興味をもって入学したので取り組める機会を得ることができ、学会発表でも優秀賞を受賞することができ良い結果を残すことができました。

広場の設計でも、ベンチの制作でも大学の授業では学ぶことができないことがありました。それは本当に良い経験になり、自身のスキルアップにつながり、今後のキャリアにも役立つと思います。

これから入学する入学生のみなさんが充実した学生生活を送れることを願っています。

「自分から動くということ」

デジタルゲーム学科 山根 空汰 さん



いきなりですが、大学生活において一番大事なことは何でしょうか？単位を取る、やりたいことをやる、他にも色々あると思いますが、私の中では「自分で考えて動くこと」だと考えています。

私は主に、ゲーム制作とサークル活動を行ってきました。ゲーム制作では、1人で全てを制作することもあれば、チーム制作をしたこともありました。サークルでは、イベント制作サークルに所属、3年からは代表を務め、イベントを制作しサークルを運営していました。

私の代は入学時にコロナ禍が始まってしまったため、最初の2年間はまともに大学に通うことすらできずでし

た。友人もできずただ1人で授業を受ける日々は、自分にとって「このままでいいのか」と

不安になる時間でした。なんとかこの状況を変えたいと思い、2年生からサークルに所属したり、学外でのゲーム展示のコンペに1人で参加したりと、少しずつ自分から動くことが増えました。

3年生の頃、チームで制作したVRゲームがゲーム展示のコンペに通過し、ゲームイベントへ展示することになりました。このイベントでユーザーの方々から様々な意見をもらったことは、とても貴重な機会となりました。このような経験がもっとほしい、そう考えた私は、日本最大級のゲームイベント、東京ゲームショウに展示できるチャンスはないかと考えました。そして、何か方法がないかを調べ、その中で見つけた学生限定の選考会に実際に応募しました。本当は東京ゲームショウなんて大きなイベントに展示はできないだろうと思っていました。しかし、なんと自分たちの作品が採択され、私は東京ゲームショウの展示を行うことができました。自分で考えて動いた結果、自分でも考えられないような結果が待っていたのです。その後も展示の機会があれば積極的に参加し、作品をブラッシュアップし続け、最終的には卒業制作として発表し、高い評価を得ることができました。

この経験を通じて一番学んだことは、大学生活を充実させたいなら受け身で行動するのではなく、目標達成のために何をするのかを考え自分から行動することが大切である、ということでした。なんでも1人で行動しなくてはいけない、という意味ではありません。自分が行動を起こすことで、自然と周りには自分と同じ志を持った仲間ができるはず。大学や先生も努力している自分に力を貸してくれます。私も友人や先生の助けがあり成果を残すことができました。でも、何もしなければこの友人も助けもなかったと思っています。「なんとかなる」ではなく、「自分で



なんとかする」の精神を持って大学生活をかけがえのないものにしてほしいと思っています。



貸与型奨学金制度について

本会では、さまざまな経済的理由により修学困難な学生及び、大学院生の修学保障を目的に貸与奨学金制度を設け、後援会（父母の会）と共同出資にて運用しています。この奨学金制度は、日本学生支援機構の奨学金とは別の大阪電気通信大学独自の奨学金制度です。

日本学生支援機構の奨学金を利用する学生の割合は、全国の学生全体の約50%とされています。

（引用：日本学生支援機構「令和2年度 学生生活調査」より）

このことから分かるように大学に通うためには多額の費用が必要で、多くの学生が奨学金を利用している実態がうかがえます。

本学学生もまた、保護者の援助や奨学金、アルバイト等で学費を得て大学に通っています。大学は、豊かな学生生活や人間形成を目的として、正課以外に課外活動も推奨していますが、アルバイト等に費やす時間も多くなっているようです。

（学生に対する課外活動の加入率：約31% 2023年6月現在）

このような生活実態と新型コロナウイルスによる生活様式の変化により、課外活動への参加率は2020年度に一度低迷しました。現在は以前の水準に戻りつつあるようですが、期待するような加入率ではないようです。

年 度	貸付人数	貸付金額
2020	2人	1,339,000円
2021	4人	2,332,000円
2022	4人	2,344,500円
2023	3人	1,623,000円
合 計	13人	7,638,500円

冒頭の、本会及び後援会（父母の会）が出資する奨学金制度の近年の利用状況は、次のとおりです。

本制度の利用申請は、保護者の経済状況の急な変化、日本学生支援機構の奨学金を申し込んだものの、時期、金額が納入期限までに間に合わない、金融機関の貸与審査が不可となった場合等に応急に対応するもので、緊急に資金を必要とする場合が対象となります。場合によっては、卒業後の生活と返済計画も考えなければならない事例も見受けられます。

利用数は少ないものの、学生の学業継続を支える最後の砦として、なくてはならない制度であると考えております。友電会会員の皆様には今後ともご理解を頂戴し、本制度の継続についてご理解いただきますようお願い致します。

（貸与奨学金委員会）
情報提供
大阪電気通信大学学務部

友電会賞を贈る 次代に羽ばたこう！

一社法人友電会は、母校の教育を支援する一環として、学業成績や卒業研究の成果が顕著な学生や続けて課外活動あるいは社会奉仕活動をおこなってきた4年生を対象に友電会賞をお贈りしています。

趣旨は、その努力を讃え、卒業後も一層その道に邁進していただきたいとの思いからです。

2月に入り、学科ごとに研究成果を発表する会が催されています。新しく設置された学科では、卒業制作展が開催され、業界関係者や地域の方にも参加していただく開かれた発表会になっています。

- 2023年度 総合情報学部 卒業研究・卒業制作展
オンライン開催／2024年2月3日(土)～3月29日(金)
学内展示／2024年2月10日(土)～11日(日)
会場／大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス
- 建築学科・大学院工学研究科建築学コース
合同卒業制作展2023「渦」
展示／2024年1月30日(火)～2月2日(金)
会場／大阪市中央公会堂

卒業生の皆さんは、大学生活を締めくくる卒業論文や制作を終え、ほっと一息ついていることでしょう。

やり遂げた後の爽快感と虚脱感は、やがて来る大きな目標に向けた癒しのときかと思えます。
卒業後、大学生活で培った知見と柔軟な思考力をもって、勇猛果敢に実社会に歩み出してください。

あなたの方ががんばりが、次の時代を切り拓いてもらえるものと確信しています。

同時に、常に学び続ける謙虚な生き方こそが、電通ブランドを高めてくれるものと考えます。

皆さんが、同窓会に戻ってきていただくことを願いエールをおくりまします。「フレー」「フレー」ワカモノ

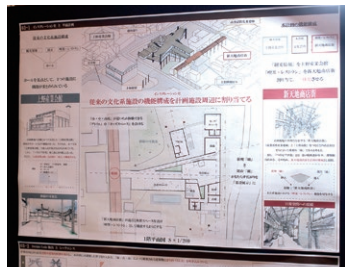
友電会の特別支部「電建会」は、建築学科卒業生の会として2023年創立した。電建会は、同学科の合同卒業制作の中から、優秀作品に対して副賞を贈呈した。



卒業作品合同展の会場



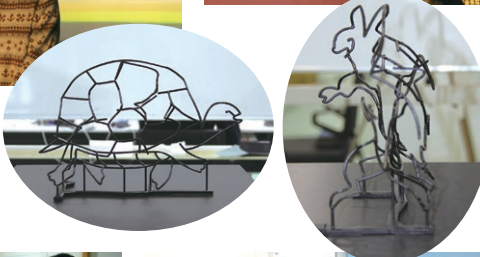
学科ごとに優秀者1名に贈られる友電会賞



建築学科の優秀作品と実行委員長



なわてんぐらブリ
受賞者スピーチ



4年ぶりに学祭開催

一社法人友電会事業
開催日／2023年11月5日・6日 於：J号館

e-スポーツ大会 電腦文化祭

一社法人友電会は、初めての取組み(本部事業部会運営)として電腦文化祭と冠を付けたeスポーツ大会を企画した。運営には、本学の院生で若手起業家の山口勇氏(PACKage代表取締役)に協力を求めた。

eスポーツはインターネットの普及とともに発展してきた。本学においても四條畷キャンパスが熱心でサークルが設けられている。

現在、eスポーツの世界競技人口は約1億3,000万人に達し、野球の競技人口を大きく上回るという。近い将来オリンピックの種目になる?という勢いだ。

今年4年ぶりに開催した本学の大学祭に呼応し、大学と電通大高校の後援および大学祭実行委員会の支援を受けて、大々的にイベントを実施した。

開会行事の後、友電会を代表して三宅一宏(K16)事業部会長と本学の総合情報学部デジタルゲーム学科の森善龍准教授がゲームの世界について面白いトークを展開していただいた。

会場となったエディケーションセンター(J号館)5階全フロアを貸切り、ゲーム大会やビンゴ大会を開催し、飽きることがない時間を過ごした。

事業が定着し育つまでの手間暇を惜しまず続けたいものですね。

新型コロナウイルスで4年ぶりとなった本学の大学祭は、新棟建設の集大成として、学生自身がアイデアをまとめて設計した中庭の周辺に模擬店等を設置し開催した。

第63期大学祭実行委員会(会長／石井 康太さん)や同常任自治委員会(委員長／渋谷 巧さん)らは、この間の中断により引継ぎができなかった運営のノウハウを、持ち前のパワーとチームワークで見事に乗り越え、素晴らしいイベントを創り上げてくれた。



■2日間の電腦文化祭の来場者

5日／453名 6日／104名
総来場者数／557名

■大会参加者(アンケート回答者)

5日／89名 6日／91名
合計／180名

■ビンゴ大会参加者数

5日／151名
6日／54名

友電会は学校法人評議員の選挙日と重なったことから大勢の会員も参加し、会場はにぎわった。

4年ぶりに学祭開催



～ にぎわう電腦文化祭より トークショー、ゲーム大会、ビンゴ大会と体験演奏 ～

ホームカミングデイ

ホームカミングデイは、一社友電会と大学が共同で開催している事業である。

大学関係者と友電会会員が直接話しができる数少ない機会といえる。

また、年に1回の交流イベントです。

「おっ、元気か!」と声をかけあう旧知の同窓との出会いの場、恩師との再会の場として大いに活用していたきたいものです。

それでは、また、来年。皆さん、お元気で!

大学との共同の事業です。新旧の卒業生や教職員が同じ夢を見て大学の発展を語り合いたいものです。



友電会は 学生活動を応援しています

キャンパスを拠点に地域や各地に活動で活躍する若者。視野を拡げ、電通ブランドを高めてくれています。

一般社団法人友電会は、学生の課外活動が活発になるよう大学と連携して支援活動をしています。

課外活動は、豊かな学生生活や人間形成を醸成するにはうってつけの場だと考え、毎年、資金援助をおこなってきました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症によって学内での活動を自粛しなければならない時期もありましたが、現在は活発に活動される姿が戻ってきました。友電会は、学生の頑張りを応援しています。

2023年度 課外活動表彰個人および団体 紹介

種別	団体名	顕著な成績・活動の紹介
団体	ハンドボール部	(5部中)4部から3部昇格(2023年秋)を果たす
団体	バドミントン部	(5部中)4部から3部昇格(2023年秋)を果たす

種別	団体名	顕著な成績・活動の紹介
団体	管弦楽団	チャレンジクラブ、秋フェス、トリプル成人式、友電会行事協力
団体	吹奏楽団	チャレンジクラブ、秋フェス、寝屋川ミュージックデー、友電会行事協力
団体	映画研究会	チャレンジクラブ
団体	SF研究会	チャレンジクラブ
団体	硬式野球部	チャレンジクラブ
団体	女子バスケットボール部	チャレンジクラブ
団体	ハンドボール部	チャレンジクラブ
団体	アメリカンフットボール部	チャレンジクラブ
団体	バレーボール部	チャレンジクラブ
団体	卓球部	チャレンジクラブ
団体	美術部	チャレンジクラブ
団体	鉄道研究会	チャレンジクラブ
団体	通信研究会	チャレンジクラブ
団体	Photo部	友電会主催行事協力、学内行事への協力



2022年撮影の同表彰式

種別	団体名	個人名	顕著な成績・活動の紹介
個人	硬式野球部	神谷 剛志	西都大学軟式野球連盟 最多奪三振賞(春季リーグ)
個人	ハンドボール部	藤田 壮馬	春季リーグ 得点ランキング9位入賞
個人	少林寺拳法部	澤良 木駿介	2023年大阪府民スポーツ大会 最優秀賞ほか
個人	硬式野球部	中田 力斗	2023年度阪神大学野球連盟春季リーグ ベスト9賞他
個人	硬式野球部	江本 裕輝	2023年度阪神大学野球連盟春季リーグ all-star選出
個人	硬式野球部	中井 陽大	主将として部員を統括し、1部リーグ残留に貢献
個人	硬式野球部	山口 膳弘	学生ヘッドコーチとして指導、4年春まで指導に携わる
個人	硬式野球部	河原林 映翔	同上 また、監督・選手から厚い信頼を得た
個人	硬式野球部	西田 昂矢	投手コーチとして江草・成木コーチのもと投手をけん引
個人	サイクリング部	野澤 毅留	第38回シマノ鈴鹿ロードレースに出場し3位入賞
個人	サイクリング部	林 彰太郎	第38回シマノ鈴鹿ロードレースに出場し3位入賞
個人	卓球部	吉留 礼稀	主将としてチームを主導し3部リーグ昇格と残留に貢献
個人	卓球部	梅木 智之	主務としてチームに貢献、春リーグ団体戦全勝
個人	スキー部	三笠 楓	白馬五竜学生基礎スキー大会で2連覇達成。ほか

国際的視野を広げるRPwellプロジェクト CYBATHLON Challenges 2024 に参加

母校の寝屋川キャンパスにある電子機械工学科

1 社会問題の解決に役立つロボットの研究開発

通信技術やセンサ、データ処理の進化によって飛躍的な発展を遂げているロボットは、いまや私たちの暮らしを支える重要な存在です。小川研究室と鄭研究室では、実世界とサイバー空間が連携するサイバーフィジカルシステム(CPS) を活用した歩行訓練環境をつくらうとしています。歩行訓練器に実装したセンサで歩行パラメータを計測し、クラウドサーバーでデータベース化、処理したデータをもとにロボットアームを制御してその人に最適な訓練補助を実施します。こうした研究開発は安全で効率の良いリハビリテーションの実現と現場の人材不足を解決する可能性を秘めています。 大学ホームページより引用

2 障がい者のための技術を競う国際大会

鄭 聖熹 (JEONG Seonghee) 研究室と小川 勝史 (OGAWA Katsushi) 研究室が開発したロボテック電動車いすが国際大会に参加した。

2024年2月2日(金) 19:30(日本時間)、寝屋川キャンパスのアクティビティホールには、モニターの向こうに世界24チーム(10か国)が集まりオンラインによって大会が開催された。

2024年10月にスイスのチューリッヒで行われる出場者紹介を兼ねたプレ競技大会という。

3 競技を通して学ぶ共生社会

RPwheel Project は、いままでの車椅子では叶わなかった屋内外でのバリア走行を可能にする車いすを開発するプロジェクトだといえます。

足腰が衰えた高齢者の方々や肢体不自由な方々がストレスを感じずに移動し、自立的な生き方ができる一助となる研究開発、健常者とともに共生社会を築くための大切な提案だと思います。

具体的な社会に貢献できる技術開発の実践を拝見させていただきました。

友電会員の皆様へ

各地で開かれる人の集まる場で、デイサービスや老人会で、母校の優れた研究者や現役生の実践を紹介していただきましたら幸いです。



国際大会に臨む 母校チーム 鄭 聖熹研究室と小川 勝史研究室が開発したロボテック電動車いす

一般社団法人へ本格的始動

2021年1月23日、法務局に登録がなされ、一般社団法人として始動した。2024年1月で3年を経過しました。この間、廣瀬一夫会長の下で2期が終了し、事業に対する総括が求められます。
友電会の記録から成果を列記しました。

【第1期／2021年1月～】

1. 理事会の意識改革

- ガバナンス強化等機能体思考への移行を図った。
- 活発な意見交換ができる理事会の構築を図った。

2. ペーパーレス化、業務効率の向上

- 執行理事と理事間との情報の共有化を図るため、インターネット環境の整備を図った。
- 理事には、タブレット端末を貸与して、WEB会議を推進した。
- 従来のような会議資料はペーパーレス化して業務効率の向上を図った。

3. 新たな部会編成

- 「企画運営部会」「組織部会」「事業部会」「広報・総務、財務部会」及び「事務局」と改正し、学園80周年記念事業等新たな取組を企画運営部会が担うとした。

4. 事務局の改革を実施

- 事務局長、局次長、事務職員の事務分掌の明確化と事務局用メールの設定による事務の合理化を図った。
- 公認会計士の入れ替えによる会計業務の改善、職員の入れ替えによる活性化を図った。

5. 各種規程の改正

- 旅費規程
- 支部設置規程と助成金規定
- 弔慰規程

6. 予算の有効性のチェック

- これまでの予算配分を見直し、貸与奨学金の原資回収を実施した。また、これまでの資金運用状況を総点検し有用運用に配慮した予算化を図った。

7. 清算業務と余剰金の運用

任意団体友電会の資産の清算を完了し、残余金の運用・用途について、学園記念事業等へ出資等広く意見を集約した。

【第2期／2022年6月～2023年3月】

2022年度一社法人友電会の社員総会が6月に開催され、廣瀬一夫体制は、一部役職の異動が承認され、2期目が始動した。

主な事業は次のとおりです。

8. 各種規則の策定

9. 支部活動の活性化と若手会員の勧誘

- 地域支部の充実と拡大に努め、特別支部の設置により若年層会員の参画を促進、大学との連携を強めた。準会員の同窓会への意識を高める働きかけを推進した。

10. 友電会60周年記念、一社法人設立記念式典の開催、学園80周年記念事業への支援

11. 実効ある奨学金制度による資産の有用活用

- 給付奨学金の拡充を検討、貸与奨学金の現有資産の有効活用を図った。

12. 就職活動を支援・活躍する会員紹介

- 卒業生ネットワーク作りに取り組んだ。
- 就職活動する学生に出前講座や起業家グループでの意見交換の場を提供した。
- 起業家同友会では、会誌やホームページ等を活用し「活躍する先輩コーナー」で紹介した。
- 教職をめざす学生の懇談会の活性化を図った。

13. 若手会員に対する起業支援システムの構築

- 起業の手助けとなる支援が得られるシステムを構築するための検討を行った。

14. 機関紙「ゆうでんかい」の刊行

- 広報部会が会誌制作を担当し137号「卒業生・入学生特集」を発刊した。同時に、ホームページ制作と会誌制作を新規委託した業者が担い時代に即応できる対応を行った。

【確かな前進を】

2024年6月22日には2024年度定時社員総会を開催します。現在の理事会が解散し新たな執行部体制の下で、友電会が堅実な運営を行うために会員皆様のご意見を友電会にお寄せください。

新旧社員の方々にはアンケート調査を実施しました。ご協力に感謝申し上げます。

第1章 総 則

【名称】

第1条 当法人は、一般社団法人大阪電気通信大学友電会と称する。

【主たる事務所等の所在地】

第2条 当法人は、主たる事務所を大阪府寝屋川市初町18番8号大阪電気通信大学内に置く。

【目的】

第3条 当法人は、会員相互の親睦と研修を図るとともに、学校法人大阪電気通信大学と緊密に連携を保持し、その発展に協力して、教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

【事業】

第4条 当法人は、前条の目的を達成するため、非営利型の法人として次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦に関する事業
- (2) 研究発表会、講習会、座談会等の開催に関する事業
- (3) 機関誌等の広報に関する事業
- (4) 学校法人大阪電気通信大学発展に関する事業
- (5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

【公告方法】

第5条 当法人の公告は、電子公告により行う。ただし事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

【機関】

第6条 当法人は、理事会及び監事を置く。

第2章 会員及び社員

【会員】

第7条 当法人の会員は、次のとおりとする。

- (1) 正会員
学校法人大阪電気通信大学が設置した大学の学部を卒業、又は大学院を修了した者で、卒業時あるいは修了時までに社員総会の定める額の会費を納めた者
- (2) 準会員
学校法人大阪電気通信大学が設置した大学の学部又は大学院に在籍している学生で、社員総会の定める額の会費を納めた者
- (3) 特別会員
学校法人大阪電気通信大学の専任職員（大阪電気通信大学高等学校の職員を除く。）
- (4) 賛助会員
当法人の目的に賛同しその事業を援助する者で、理事会の承認を得た個人又は団体
- (5) 名誉会員
当法人の目的達成に貢献をした者で、理事会の決議を経て推薦された個人

【社員及び代議員】

第8条 当法人は、おおむね正会員500人の中から1人の割合で選出される代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）に定める社員とする。

【社員の選出】

第9条 社員は、当法人の正会員の中から選考し、理事会の承認をもって選出され、会長が社員総会で報告する。
2. 社員の選考方法等、必要な事項は別に定める。

【社員の任期】

第10条 社員の任期は、選出後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただ任期満了後においても後任者が選出されるまではその職務を行わなければならない。

- 2. 社員が社員総会決議取消しの訴え（法人法第266条第1項）、解散の訴え（法人法第268条）、責任追及の訴え（法人法第278条）及び役員の解任の訴え（法人法第284条）を提起している場合（法人法第278条第1項に規定する訴えの提起の請求をしている場合を含む。）には、前項本文の規定にかかわらず、当該訴訟が終結するまでの間、当該社員はなお法人法上の社員たる地位を有するものとする。ただし、当該社員は、役員の選任及び解任（法人法第63条及び第70条）並びに定款変更（法人法第146条）についての議決権は有しないものとする。
- 3. 任期満了前に退任した社員の補欠として選出された者の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。
- 4. 増員により選出された社員の任期は、他の社員の任期の残存期間と同一とする。

【正会員の権利】

第11条 社員でない正会員は、法人法に規定された次に掲げる社員の権利を、社員と同様に当法人に対して行使することができる。

- (1) 法人法第14条第2項に定める権利（定款の閲覧等）
- (2) 法人法第32条第2項に定める権利（社員名簿の閲覧等）
- (3) 法人法第50条第6項に定める権利（社員の代理権証明書等の閲覧等）
- (4) 法人法第51条第4項及び第52条第5項に定める権利（議決権行使書面等の閲覧等）
- (5) 法人法第57条第4項目定める権利（社員総会の議事録の閲覧等）
- (6) 法人法第129条第3項に定める権利（計算書類等の閲覧等）
- (7) 法人法第229条第2項に定める権利（清算法人の貸借対照表等の閲覧等）
- (8) 法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条3項に定める権利（合併契約等の閲覧等）

【会費の支払義務】

第12条 正会員（社員を含む。）及び準会員は、社員総会の定める額の会費を支払わなければならない。

【退会】

第13条 会員は、次に掲げる事由によって退会する。

- (1) 会員本人の退会の申し出
- (2) 死亡
- (3) 除名
- (4) 失踪宣告を受けたとき
- (5) 成年被後見人又は被保佐人となったとき
- 2. 会員の除名は、当法人の名誉を毀損し、又は当法人の目的に反する行為をする等正当な事由があるときに限り、社員総会の決議によってすることができる。この場合は、当該会員に対し、当該社員総会の日から1週間前までにその旨を通知し、かつ、社員総会において弁明する機会を与えるものとする。
- 3. 第1項の規定により会員が退会する場合でも、当該会員が既に支払った会費の返還は行わないものとする。

【退社】

第14条 社員は、次に掲げる事由によって退社する。

- (1)社員本人の退社の申し出
- (2)死亡
- (3)総社員の同意
- (4)除名
- (5)失踪宣告を受けたとき
- (6)成年被後見人又は被保佐人となったとき
2. 社員の除名は、当法人の名誉を毀損し、又は当法人の目的に反する行為をする等正当な事由があるときに限り、社員総会の決議によってすることができる。この場合は、当該社員に対し当該社員総会の日から1週間前までにその旨を通知し、かつ、社員総会において弁明する機会を与えるものとする。
3. 第1項の規定により社員が退社する場合でも、当該社員が既に支払った会費及び経費の返還は行わないものとする。

【会員名簿】

- 第15条 当法人は、会員の氏名及び住所を記載した会員名簿を作成し、当法人の主たる事務所に備え置くものとする。
2. 当法人の会員に対する通知又は催告は、会員名簿に記載した住所、又は会員が当法人に通知した居所にあてて行うものとする。
3. 会員名簿の管理は、個人情報保護法による。

【社員名簿】

- 第16条 当法人は、社員の氏名及び住所を記載した社員名簿を作成し、当法人の主たる事務所に備え置くものとする。
2. 当法人の社員に対する通知又は催告は、社員名簿に記載した住所、又は社員が当法人に通知した居所にあてて行うものとする。

第3章 社員総会

【構成】

- 第17条 社員総会は、社員をもって構成する
2. 社員総会における決議権は、社員1名につき1個とする。

【権限】

- 第18条 社員総会は、次の事項について決議する。
- (1)会費
- (2)会員及び社員の除名
- (3)理事及び監事の選任及び解任
- (4)事業計画及び収支予算
- (5)事業報告
- (6)貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び財産目録
- (7)定款の変更
- (8)解散
- (9)理事会において社員総会に付議した事項
- (10)前各号に定めるもののほか、社員総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

【開催】

- 第19条 当法人の社員総会は定時社員総会及び臨時社員総会の2種とし、定時社員総会は、毎年1回、

毎事業年度末日の翌日から3か月以内に開催し、臨時社員総会は、必要に応じて開催する。

【招集】

- 第20条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長がこれを招集する。
2. 総社員の議決権の10分の1以上の議決権を有する社員は、会長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して、社員総会の招集を請求することができる。その場合、理事会の決議により会長がこれを招集する。
3. 社員総会を招集するには、法令に別段の定めがある場合を除き、開催日より1週間前までに、社員に対して書面で招集通知を発しなければならない。

【議長】

- 第21条 社員総会の議長は、当該社員総会において社員の中から選出する。

【決議】

- 第22条 社員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。
2. 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。
- (1)会員及び社員の除名
- (2)理事及び監事の解任
- (3)定款の変更
- (4)解散
- (5)前各号に定めるもののほか、法令で定められた事項

【議決権の代理行使】

- 第23条 社員は、当法人の社員1名を代理人として、議決権を行使することができる。ただし、この場合には、社員総会ごとに代理権を証する書面を提出しなければならない。

【決議の省略】

- 第24条 理事又は社員が社員総会の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき、社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

【社員総会議事録】

- 第25条 社員総会の議事については、法令に定める事項を記載した議事録を作成し、議長、会長及び出席社員2名がこれに署名又は記名押印し、10年間当法人の主たる事務所に備え置くものとする。

第4章 役員等

【役員の設置】

- 第26条 当法人に、次の役員を置く。
- (1)理事 11名以上21名以内
- (2)監事 2名以上3名以内
2. 理事のうち1名を会長、3名以内を副会長、1名を事務局長とする。
3. 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長及び事務局長をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

【役員の選任】

- 第27条 理事及び監事は、社員総会の決議によって社員から選任する。

2. 会長、副会長及び事務局長は、理事会の決議によって理事から選定する。
- 【理事の職務及び権限】
- 第28条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。
2. 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、当法人を代表し、その業務を執行する。
3. 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、会長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従いその職務を代行し、会長が欠けたときはその職務を行う。

- 【監事の職務及び権限】
- 第29条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
2. 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

- 【理事及び監事の任期】
- 第30条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし再任を妨げない。
2. 任期満了前に退任した理事及び監事の補欠として選任された者の任期は、前任者の任期の残存期間とする。
3. 増員により選任された理事の任期は、他の在任理事の任期の残存期間とする。
4. 理事又は監事は、第26条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

- 【報酬等】
- 第31条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、その職務執行に要する費用を支払うことができる。
- 【責任の一部免除又は限定】
- 第32条 当法人は、理事及び監事の法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として免除することができる。
2. 当法人は、理事（業務執行理事又は当法人の使用人でないものに限る。）又は監事との間で、法人法第111条第1項の賠償責任ついて、法令に定める要件に該当する場合には、賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、その契約に基づく賠償責任の限度額は、金10万円以上で当法人があらかじめ定めた額と法令の定める最低責任限度額とのいずれか高い額とする。

- 【顧問】
- 第33条 会長は、当法人に顧問を置くことができる。
2. 顧問は会長の諮問に応え、意見を述べることができる。
3. 顧問には、必要な諸経費を支払うことができる。

- 第5章 理事会
- 【構成】
- 第34条 理事会は、すべての理事をもって構成する。
2. 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べなければならない。
- 【権限】
- 第35条 理事会は、次の職務を行う。
- (1)当法人の業務執行の決定
- (2)理事の職務の執行の監督

- (3)会長、副会長及び事務局長の選定及び解職
- (4)前各号に定めるもののほか、法令又はこの定款で定められた事項
- (5)その他、会長が必要と認めた事項
- 【招集】
- 第36条 理事会は、会長が招集し、開催日の1週間前までに各理事及び各監事に対して招集の通知を発するものとする。ただし、緊急の場合にはこれを短縮することができる。

- 【招集手続の省略】
- 第37条 理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集手続を経ずに開催することができる。
- 【議長】
- 第38条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。
- 【決議】
- 第39条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 【決議の省略】
- 第40条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

- 【報告の省略】
- 第41条 理事又は監事が、理事及び監事の全員に対して理事会に報告すべき事項を通知したときは、当該事項を理事会へ報告することを要しない。ただし、法人法第91条第2項の規定による報告については、この限りではない。

- 【理事会議事録】
- 第42条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
2. 出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印する。
3. 第1項の議事録は理事会の日から10年間主たる事務所に備え置く。

- 第6章 資産及び会計
- 【事業年度】
- 第43条 当法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までの年1期とする。
- 【事業計画及び収支予算】
- 第44条 当法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。
2. 前項の事業計画及び収支予算は、定時社員総会に提出し、承認を受けなければならない。
- 【事業報告及び収支決算】
- 第45条 当法人の事業報告及び収支決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。
- (1)事業報告
- (2)事業報告の附属明細書
- (3)貸借対照表
- (4)損益計算書(正味財産増減計算書)
- (5)貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書

- (6)財産目録
2. 前項の書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時社員総会に提出し、承認を受けなければならない。
3. 第1項の書類及び監査報告書を、定時社員総会の日の2週間前の日から5年間、主たる事務所に備え置くものとする。

【剰余金】

第46条 当法人は、剰余金の分配を行わない。

第7章 解散及び清算

【解散の事由】

- 第47条 当法人は、次に掲げる事由によって解散するものとする。
- (1)社員総会の決議
- (2)社員が欠けたこと
- (3)合併(合併により当法人が消滅する場合に限る。)
- (4)破産手続開始の決定
- (5)法人法第261条第1項又は第268条の規定による解散を命ずる裁判

【残余財産の帰属】

第48条 当法人が清算をする場合において有する残余財産は、学校法人大阪電気通信大学に贈与するものとする。

第8章 委員会及び部会

【委員会の設置等】

- 第49条 当法人の事業を推進するために必要あるときは、理事会は、その決議により、委員会を設置することができる。
2. 委員会の委員は、理事会が選任する。
3. 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

【部会の設置等】

- 第50条 当法人の事業を推進するために必要あるときは、理事会は、その決議により、部会を設置することができる。
2. 部会の部員は、理事会が選任する。
3. 部会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第9章 事務局

【設置等】

- 第51条 当法人の事務を処理するため、事務局を設置する。
2. 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
3. 前項の職員は、会長が理事会の承認を得て任免する。
4. 職員は、有給とする。
5. 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第10章 支部

【設置等】

- 第52条 当法人は、理事会の決議により、支部を設置することができる。
- 2.支部の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第11章 附 則

【大阪電気通信大学友電会の支部】

第53条 大阪電気通信大学友電会の支部は、前条の規定にかかわらず、当法人成立の日から当法人の支部となる。

【委任】

第54条 この定款に定めるもののほか、当法人の運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

【設立時社員の氏名及び住所】

第55条 当法人の設立時社員の氏名及び住所は、次のとおりとする。

【設立時社員の任期】

第56条 設立時社員の任期は設立後最初の定時社員総会までとする。

【設立時役員】

第57条 当法人の設立時理事及び設立時監事は、次のとおりとする。

【設立時理事の任期】

第58条 設立時理事の任期は設立後最初の定時社員総会までとする。

【最初の事業年度】

第59条 当法人の最初の事業年度は、当法人成立の日から令和2年3月31日までとする。

【最初の事業年度の事業計画及び収支予算】

第60条 当法人の最初の事業年度の事業計画及び収支予算については、第44の規定にかかわらず、当法人設立後速やかに会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。

【大阪電気通信大学友電会の会員】

第61条 大阪電気通信大学友電会の正会員は、第7条の規定にかかわらず、当法人成立の日から当法人の正会員となり、大阪電気通信大学友電会の準会員は第7条の規定にかかわらず、当法人成立の日から当法人の準会員となる。

【定款に定めのない事項】

第62条 この定款に定めのない事項については、すべて法人法その他の法令の定めるところによる。

以上、一般社団法人大阪電気通信大学友電会を設立するため、設立時社員青木政治外6名の定款作成代理人である司法書士井上真太郎は、電磁的記録である本定款を作成し、電子署名する。

令和元年6月22日
司法書士 井上慎太郎

将来への夢が広がる 海外語学研修



2022年度の海外語学研修プログラムに参加した学生の今を訪ねた。あれから1年、自身の生き方に確かな目標をもって学校生活する姿が見られた。

友電会のこれからの事業に対するビジョンを様々な学生から発見できるように思う。

EH21 八木 俊磨 さん

私は、約1か月間カナダのバンクーバーでブリティッシュコロンビア大学(UBC)のプログラム、イングリッシュランゲージインスティテュート(ELI)として短期留学をしました。

平日の昼間は、大学に通い日本では学べない英語を使ったコミュニケーションを学び、週末には1週間のまとめとしてプレゼンテーションを行いました。休日や放課後には現地のダウンタウンや観光名所に行き、現地の人と関わり異文化について学びました。

この1か月間の日々が刺激的でとても有意義な時間でした。そのすべてが学びになったと今では思います。

日々の学びはもちろんありました。その中でも一番の学びは現地に行かなければわからないギャップを知れたことです。

特に感じたのはバンクーバーでは珍しく大雪が降った日のことでした。

交通網が乱れ、バスが数時間遅れることがありました。朝の通勤時だったため現地の人は急いでいたと思います。しかし、目的地に着いた乗客のほとんどがバスの運転手に対して丁寧に挨拶をしていました。日本では、遅延した際に感謝する人をあまり見ないため珍しい光景だと思いました。そして、バンクーバーの人たちはなんて温かい人たちなのだろうと思いました。日本は世界的に見ても平和な国とよく言われるような気がします。私も漠然と平和な国と言えば日本を思い浮かべます。しかし、カナダのように日本と変わらないくらいの温かみと平和を兼ね備える国があると学べる機会となりました。

私は英語に自信がありませんでしたが、現地の人とコミュニケーションをとる中で1人1人が異なる意見、趣味、価値観を持っていてもいいと気づきました。それからは、発言や挑戦することに自信が持てるようになりました。

留学前は緊張して人前で話す事が本当に苦手でした。しかし、プレゼンテーションや日々を過ごす中で気づいた、人と違っていてもいいという文化が自分に勇気を与えてくれました。それから、人前でも冷静になれるようになりました。

今回の留学で得た学びを活かして英語を使った仕事に就きたいと考えています。その為、TOEICの勉強や英会話の教室に通い、日常に英語を取り入れるようにしています。

2022年2月19日～3月19日 カナダ語学研修

母校の国際化に向けた取組みとしてアジアからの留学生受け入れを行っています。在籍する学科は、総合情報学科が多く、国別では中華人民共和国の学生が28名で一番となっています。留学生との共同事業を考えてみてはいかがでしょうか。

アマチュア無線でつながる世界

多様性を知って広がる世界観

中森 和真 さん(JQ3FDO)
西原 漣 さん(JO4KVB)

初めて海外を見た本学1年生の中森さんの体験記を紹介します。

中森和真さんは、通信工学科に在籍する学生さん。課外活動は通信研究会に所属している。今回YOTAの招きで「IARU R3 Youngsters on the Air Camp」に参加した。彼が、見てきた体験をレポートしてもらった。

このレポートは、2023年10月26日から10月29日に実施された「IARU R3 Youngsters on the Air Camp」について1日ごとにまとめました。

活動内容

《1日目》

10月26日午前9時頃(日本時間)に関西空港(KIX)を出発し、タイ・バンコクのスワンナプーム国際空港(BKK)に向いました。スワンナプーム国際空港へは同日午後3時半(日本時間)ごろに到着した。



入国手続き等を済ませロビーにいた韓国のチームと現地の参加者の方と合流し、パタヤにある宿泊場所・活動場所の「ECO HOTEL」へ移動しました。空港からパタヤまでは距離があり、約2時間かかりました。

宿泊施設に到着後、夕食の弁当や活動用のTシャツを受け取り、自分たちの部屋へ向かいました。夕食後、HF帯の運用があると聞き、私たちは指定された場所へ向かいました。E2YOTAの記念コールを使用して角国の若者がコンテストオペレーションを行っており、私たちもSSBやCWでコンテストに参加、また、送信出力1KWで



南アフリカとのDXQSOなども成功させました。

英語で無線交信することはとても緊張しましたが、相手とコミュニケーションが取れたときは感動しました。

(JQ3FDO)

到着して早速HFで運用し、たくさんの友だちができてとても嬉しかったです。

(JO4KVB)

《2日目》

朝食後、オリエンテーションを行いました。オリエンテーションでは前日にもらっているコールサインが書かれたタグに名前を書き、それを1度回収しシャッフルして配る。そして、タグの持ち主を探すというゲームのようなものでした。このゲームのようなものが終わった後、自分のタグを持っていた人を思いだし探すという、これもゲームのようなものを行いました。私たちは、初めて体験したゲームなので、最初はかなり戸惑いました。

ついはピンポン玉を箸で運ぶゲームをしました。日本人と韓国人がいるチームはかなり有利でした。また、4本の紐が着いたペンを互いに引っ張り、お題の絵を描き、その速さを競うゲームも行いました。この時点でかなりメンバーの仲は良くなっていました。

英語が得意ではありませんが、ある程度ジェスチャーなどでコミュニケーションをとっていました。

最初はとても緊張していましたが、チームメイトから話しかけてくれたので、次第に緊張が解けていきました。

(JQ3FDO)

オリエンテーションが終わった後の休憩時間で早速できた友だちとビリヤードなどのゲームをし、お互いに打ち

解けて様々な文化交流ができました。
(JO4KVB)

ティータイムをはさみ、会議室のような部屋に行きました。そこで、今回お世話になった現地団体の方のご紹介がありました。また、IARUから来られている方もいらっしゃいました。

次に衛星通信についての講義が始まりました。



資料1：講義中の様子

実際に衛星通信交信も行いました。まず、ISSの衛星レピーターを用いてSSBで交信を成功させる事ができました。初めてISSレピーターを使用し、周波数のシフトの調整が非常に難しかったのですが、初めて衛星を用いた更新が成立した時、「自分の声が宇宙まで飛んでいる」と実感し感動しました。また、QO-100というインド洋製紙軌道上にあるアマチュア通信衛星でも交信することができました。



資料2：交信中の様子

アップリンク2.4GHz、ダウンリンク10.4GHzというかなり周波数の高い電波を用いて交信を行いました。QO-100は静止衛星のため周波数を調整する必要がなく、交信は比較的容易でしたが、一度交信が終わると次々多極から呼ばれる非常に人気のある衛星でした。
(JO4KVB)



資料3：直径1.5mmほどのパラボラアンテナ
資料4：2.4GHz帯パラバロアンテナ

《3日目》

この日は、電界強度計や八木・宇田アンテナについて勉強しました。1時間ほどの授業で無線工学の入門や八木・宇田アンテナの特性や歴史などについて学びました。次に実際に電子部品を自分たちの手で基板にはんだ付けしました。次に塩ビニル製パイプと巻き尺などを使い、八木・宇田アンテナを作りました。



資料5：(左)八木・宇田アンテナを作っている様子
資料6：(右)八木・宇田アンテナの構成部品

自分たちで作ったアンテナでフォックス・ハンティング(ARDF)をしました。フォックスハンティングの競技ではチームになって競い合い、ホテル周辺を実際に歩き5つ

の電波の発射源を探していくというものでした。競技を開始直後にスコールが発生し、一時中断になりました。また、施設近辺に落雷した影響か停電が発生していました。約30分非常に強い雨が降っていました。雨が止んだ後、競技を再開しました。1時間ほどかけ、ビーコンを探し回りました。背筋の敷地はとても広く、長い距離を歩きました。

スコールの直後で小雨が降っていましたが、チームで一心同体となり探し回りました。
(JQ3FDO)

雨の中にも関わらず、皆楽しく、ARDFに取り組みました。
(JO4KVB)



資料7：木に設置された発信機



資料8：完成したアンテナを持っている様子

《4日目》

この日は最終日でかくこくのチームに分かれてキャンプ

の活動や自国の無線コミュニティについてパワーポイントを使い発表しました。

中には、自国のデジタル教育について紹介している国もあり、小学生低学年と思われる子どもが学校でパソコンを操作している写真などが映し出されていました。

すべての国の発表が終わり、修了証を受け取り、今回のキャンプは終了しました。



資料9：修了証を受け取る様子 (JQ3FDO)



資料10：修了証を受け取る様子 (JO4KVB)

自室に戻り荷物をまとめ、正午ごろに空港に向け出発しました。空港到着後は各自お土産などを買った後、帰路につきました。



《まとめ》

今回「IARU R3 Youngsters on the Air Camp」に参加して、衛星通信やARDF、電界強度計などといったアマチュア無線をさらに楽しむ技術を学ぶことができました。さらに、IARU第三地域の人たちと交流し国によるアマチュア無線の文化の違いを学ぶことができました。このことを活かして、日本のアマチュア無線をよりよくできるように小さなことから挑戦していきたいと思いました。

今回参加していた人の中には、10歳くらいの子どもがいました。日本のアマチュア無線コミュニティにも若年層がさらに増えればいいなと思いました。今回のようなキャンプが日本でも行われることを願っています。

改めて、今回のキャンプでは海外のアマチュア無線文化やアマチュア無線に関する法律やルールを知ったり、英語でのコミュニケーション力を高めることができました。

このような機会をいただけたことは大変光栄です。ありがとうございました。

《終わりに》

JO4KVB

私は何度か海外でアマチュア無線を運用したことがありますが、初めて近い年齢の人たち大人数で運用しました。それぞれが楽しみながら積極的に交信できる機会はなかなか、このような場を作っていただいたIARU R3のYOTAには感謝しかありません。また、機会があれば是非、行きたいと思います。

JQ3FDO

私は出発前、今回が初の海外渡航ということもあり、全において緊張していました。

しかし、JO4KVBや現地で出会った皆さんのサポートもあり、素晴らしい経験になり、現地で過ごした時間はあっとの間に過ぎていきました。

改めて、今回このような機会をくださったJARLの皆様およびYOTA Japanの皆様には感謝でいっぱいです。

本当にありがとうございました。

《あとがき》

通信工学科で学ぶ大学1年生の二人が昨年の秋、アマチュア無線の集いに参加してきた。「例え、共通言語が話せなくても、趣味でつながっている」と簡単に言ってしまうものではない。今後、彼らが日本にいて世界の人たちと交信を重ねていくと語学力は着実に向上するだろうし、物の捉え方・見方が豊かになるだろうと思う。

是非、2回目の海外体験の計画を進めてほしい。日本以外の文化や価値観に触れ、大きな国際人に育つことを期待します。

友電会のみなさまへ

お空で会いましょう～

かつて、情報技術を学びたい学生が全国から本学に入学した。ハムクラブに入り、今もORTしておられる方もいらっしゃるでしょう。

今回紹介した2名は、本学の無線通信研究所に所属しています。皆様との交信を楽しみにしておりますので、ぜひ、空の上で若い電通生と会ってくださいませよう紹介します。また、交信ができた方からの友電会への投稿もお願いします。

入学生の皆様へ

新入生の皆さん、 ご入学おめでとうございます！

これからたくさんのことを経験していくと思いますが、私たちが企画するイベントが、皆さんにとって楽しい思い出の一つになれば幸いです。
新入生に向けたイベントもたくさん予定していますので、ぜひご参加ください。
同じ電通大生として、これからよろしくお願い致します！



卒業生の皆様へ

先輩、 ご卒業おめでとうございます！

イベントの準備や運営を先輩方と協力していくうちに、活動外でも頼りになり、一緒に活動する関係となりました。
先輩と会える機会はぐっと減ってしまいますが、学園祭やイベントを通じて先輩が遺されたノウハウや、思いが見られると思いますので、卒業してからは是非、なわフェスや今後のイベントに顔を出してください！
これからの先輩の活動を秘かに応援しています！



第16期四條畷キャンパスイベント運営委員会

大阪電気通信大学退職者及び退職予定者

2023年度に退職される大学関係者を一覧にしました。新型コロナウイルス感染症により2019年度から2022年度までにご退職された方々もご紹介します。ご退職の皆様には幸あれとご祈念申し上げます。

氏 名	所 属	勤続年数	退職年度
猪原 正守	情報工学科	34年	2019年度
神崎 和男	ゲーム&メディア学科	31年	2019年度
森石 峰一	人間科学教育研究センター	15年	2019年度
齊尾 恭子	教育開発推進センター	3年5か月	2019年度
鎌田 亜紀	医療科学科	4年	2019年度
小枝 正直	情報学科	12年	2019年度
中村 拓司	基礎理工学科	15年	2019年度
伊與田 功	電気電子工学科	12年	2020年度
小見山 彰	電気電子工学科	35年	2020年度
小森 一平	ゲーム&メディア学科	14年	2020年度
柏原 郁子	英語教育研究センター	23年	2020年度
大石 利光	健康スポーツ科学科	12年	2021年度
尾花 由紀	基礎理工学科	12年	2021年度
高岡 大造	環境科学科	12年	2021年度
ヒルド ミハエル	情報工学科	28年	2021年度
吉田 正樹	理学療法学科	24年	2021年度
袖山 則宏	資産運用学科	5年	2021年度
木村 和広	数理科学教育研究センター	22年	2021年度
宇田 豊	機械工学科	17年	2022年度
小田 邦彦	理学療法学科	17年	2022年度
萬代 武史	数理科学教育研究センター	25年	2023年度
阿久津 典子	環境科学科	33年	2023年度
加藤 常員	情報工学科	34年	2023年度
細野 剛良	医療科学科	22年	2023年度
眞下 苑子	人間科学教育研究センター	6年	2023年度
辻 晶子	人間科学教育研究センター	2年	2019年度
井上 和子	資産運用学科	3年	2019年度
高橋 和子	学務部総合学生支援センター	5年	2020年度
田中 容子	資産運用学科	4年	2020年度
關 義親	数理科学教育研究センター	2年	2021年度
伊藤 祥司	基礎理工学科	5年	2022年度
外山 真理	基礎理工学科	2年7か月	2022年度
長瀧 寛之	メディアコミュニケーションセンター	3年9か月	2022年度
宝宮 孝明	メディアコミュニケーションセンター	5年	2022年度
星野 実	機械工学科	5年	2023年度
木村 哲士	数理科学教育研究センター	5年	2023年度
伊藤 公毅	数理科学教育研究センター	5年	2023年度
桃井 ちひろ	理学療法学科	5年	2023年度
中村 賢志	実験センター	8年	2023年度
池宮 達雄	内部監査室	43年	2019年度
大平 正敏	財務部	3年	2019年度
小池 達男	四條畷事務部	32年	2019年度

氏 名	所 属	勤続年数	退職年度
松本 拓也	入試課	1年6か月	2020年度
鈴木 佑亮	入試部	20年	2021年度
中島 智子	四條畷学務部	16年	2021年度
岡田 裕也	学務課	7年6か月	2022年度
千松 哲也	法人事務局	8年	2023年度
江間 則之	実験サポート課	7年	2019年度
田村 公麿	メカトロニクス基礎	7年	2019年度
池元 明子	学務課	6年9か月	2019年度
稲田 誠	実験サポート課	2年9か月	2019年度
桐原 信幸	実験サポート課	2年2か月	2019年度
古賀 弘	エレクトロニクス研究所	4年3か月	2019年度
坂本 絹子	四條畷学務課(医務室)	26年1か月	2019年度
中村 和弘	実験サポート課	3年	2020年度
成瀬 久孝	実験サポート課	3年	2020年度
森井 房和	寝屋川就職課	5年6か月	2020年度
久保 浩子	教育開発推進室	2年10か月	2020年度
舩田 龍也	先端マルチメディア合同研究所事務室	2年	2020年度
瀧 由里子	四條畷学務課(医務室)	1年4か月	2020年度
今井 清	実験サポート課	4年	2021年度
岡田 全統	四條畷就職課	11年6か月	2021年度
吉野 浩子	四條畷就職課	4年	2021年度
寺本 郁美	先端マルチメディア合同研究所事務室	1年6か月	2021年度
押谷 宏史	寝屋川就職課	2年	2022年度
坂村 由美子	研究支援室	4年7か月	2022年度
矢野 嘉彦	実験サポート課	4年6か月	2022年度
木村 美穂	学務課	5年	2022年度
築山 春子	四條畷就職課	5年	2022年度
水川 邦子	学務部総合学生支援センター自立支援室	2年	2022年度
田中 佐和子	寝屋川就職課	1年	2022年度
瀬戸崎 芽育	学事課	2年	2022年度
池田 好美	入試課	6年	2023年度
伊藤 比佐志	実験サポート課	5年11か月	2023年度
植田 秀司	実験サポート課	6年	2023年度
岡田 伸二	実験サポート課	5年1か月	2023年度
開田 紀実	学事・会計課	1年7か月	2023年度



教え子に囲まれ最終講義を終えた先生方



ともに発展に力を尽くした仲間と語られた送別会

大電大ブランドを身につけ大きく羽ばたかれることを

【工学部】

■日産自動車株式会社 ■関西電力株式会社 ■国立大学法人京都大学 ■積水ハウス株式会社 ■三菱電機株式会社 ■大和ハウス工業株式会社 ■清水建設株式会社 ■テクノプロデザイン社 ■株式会社大林組 ■アルプスアルパイン株式会社 ■株式会社ダイフク ■株式会社熊谷組 ■日本総合住生活株式会社 ■トランスコスモス株式会社 ■ダイハツ工業株式会社 ■株式会社きんでん ■タカラスタンド株式会社 ■全日本空輸株式会社 ■西松建設株式会社 ■東芝エレベータ株式会社 ■住友電装株式会社 ■総合警備保障株式会社 ■東洋建設株式会社 ■株式会社ツバキ・ナカシマ ■株式会社椿本チエイン ■ユニ・チャーム株式会社 ■株式会社フジタ ■フジテック株式会社 ■山崎製パン株式会社 ■ニデックオーケーケー株式会社 ■日本電設工業株式会社 ■トヨタ紡織株式会社 ■芦森工業株式会社 ■株式会社王将フードサービス ■三機工業株式会社 ■モリ工業株式会社 ■東京計器株式会社 ■株式会社NSD ■アイコム株式会社 ■株式会社フジシール ■株式会社鴻池組 ■新日本空調株式会社 ■株式会社指月電機製作所 ■三菱電機ビルソリューションズ株式会社 ■高松建設株式会社 ■三菱ロジスネクスト株式会社 ■三谷産業株式会社 ■東建コーポレーション株式会社 ■東洋テック株式会社 ■ダイダン株式会社 ■株式会社イチケン ■大末建設株式会社 ■株式会社アーネストワン ■NCS&A株式会社 ■株式会社銭高組 ■星和電機株式会社 ■永大産業株式会社 ■日本スピンドル製造株式会社 ■イオンディライト株式会社 ■矢崎総業株式会社 ■協栄産業株式会社 ■佐藤工業株式会社 ■ニデックマシンツール株式会社 ■Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社 ■東洋機械金属株式会社 ■ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社 ■日本ファブテック株式会社 ■株式会社アルプス技研 ■JFEシビル株式会社 ■大日本土木株式会社 ■南海辰村建設株式会社 ■富士古河E&C株式会社 ■株式会社京都製作所 ■株式会社システナ ■株式会社KSK ■株式会社加地テック ■株式会社三晃空調 ■大鉄工業株式会社 ■栗原工業株式会社 ■日本空調サービス株式会社 ■株式会社京写 ■株式会社マイスターエンジニアリング ■三菱電機エンジニアリング株式会社 ■三菱電機ソフトウェア株式会社 ■株式会社カワタ ■株式会社タカトリ ■UTコネクト株式会社 ■UTEIM株式会社 ■旭精工株式会社 ■三菱電機システムサービス株式会社 ■三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジーズ株式会社 ■株式会社ニブロン ■株式会社鍛冶田工務店 ■株式会社エネゲート ■パースルクロステクノロジー株式会社 ■大和精工株式会社 ■株式会社アウトソーシングテクノロジ ■SCSK Minor iソリューションズ株式会社 ■株式会社ワールドインテック ■株式会社アサヒファシリティズ ■三菱電機コントロールパネル株式会社 ■アブライド株式会社 ■株式会社京進 ■株式会社ディーアクト ■神港精機株式会社 ■オムロンフィールドエンジニアリング株式会社 ■三島光産株式会社 ■三菱電機プラントエンジニアリング株式会社 ■株式会社スタッフサービス株式会社ダイキンアブライドシステムズ ■株式会社バトライト ■株式会社浅川組 ■野村建設工業株式会社 ■株式会社魚国総本社 ■ダイキンエアテクノ株式会社 ■旭化成リフォーム株式会社 ■株式会社アルトナー ■大森機械工業株式会社 ■ニオティーアンドエム株式会社 ■WDB工学株式会社 ■日鉄物産システム建築株式会社 ■桃栄金属工業株式会社 ■富士シート株式会社 ■西日本高速道路ファシリティーズ株式会社 ■八千代電設工

業株式会社 ■京都府教育委員会 ■株式会社ウイルテック ■株式会社ジェイアール西日本総合ビルサービス ■株式会社メイテックフィルダーズ ■株式会社フォーラムエンジニアリング ■株式会社テクノプロテクノプロ・デザイン社 ■株式会社オープンハウス・ディベロップメント ■株式会社ヤマダデンキ ■近畿日本鉄道株式会社 ■トーテックアメニティ株式会社 ■近鉄ファシリティーズ株式会社 ■住友林業ホームテック株式会社 ■大和ハウスリフォーム株式会社 ■株式会社シミズ・ビルライフケア ■関電ファシリティーズ株式会社 ■ジョンソンコントロールズ株式会社 ■株式会社寺岡精工 ■株式会社レールテック ■株式会社大西 ■株式会社NTTデータNJK ■藤原運輸株式会社 ■株式会社アブリス ■内外電機株式会社 ■パナソニックプロダクションエンジニアリング株式会社 ■富士フィルムサービスリンク ■株式会社JR西日本テクシア ■株式会社SIG ■株式会社三共製作所 ■株式会社木下工務店 ■島津産機システムズ株式会社 ■株式会社東畑建築事務所 ■株式会社丸島アクアシステム ■京阪ビルテクノサービス株式会社 ■株式会社マキシンコー ■三和建設株式会社 ■株式会社オンテック ■株式会社三進製作所 ■日本海工株式会社 ■東阪電子機器株式会社 ■第一実業ビスウィル株式会社 ■日本スーパー工業株式会社 ■フィガロ技研株式会社 ■大日通信工業株式会社 ■株式会社ノダRFテクノロジーズ ■株式会社三翠社 ■株式会社宮本組 ■株式会社カサタニ ■パナソニックエレクトリックワークス池田電機株式会社 ■株式会社福原精機製作所 ■株式会社青井黒板製作所 ■スナダ建設株式会社 ■京都電機器株式会社 ■日本住宅株式会社 ■パースルクセルHRパートナーズ株式会社 ■株式会社湯山製作所 ■西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社 ■大成化工株式会社 ■株式会社第一システムエンジニアリング ■株式会社ワールドコンストラクション ■株式会社ヒラカワ ■光製薬株式会社 ■株式会社京都ブラテック ■光軽金属工業株式会社 ■パール工業株式会社 ■株式会社シーアールイー ■株式会社東研サーモテック ■株式会社正英製作所 ■津田金属熱煉工業株式会社 ■山本ピニター株式会社 ■東洋ビルメンテナンス株式会社 ■株式会社栗菱コンピューターズ ■三栄電気工業株式会社 ■株式会社チェリオコーポレーション ■ダイキンレクザムエレクトロニクス株式会社 ■ナルックス株式会社 ■菱三工業株式会社 ■布施真空株式会社 ■三陽建設株式会社 ■株式会社テクノ高槻 ■加茂川啓明電機株式会社 ■三重金属工業株式会社 ■株式会社マクスエンジニアリング ■株式会社SCREEN SPEサービス ■株式会社ピーエムコンサルタント ■生見栄養薬品株式会社 ■西菱電機エンジニアリング株式会社 ■株式会社相和技術研究所 ■株式会社大兼工務店 ■株式会社島津アクセス ■タカハシガリレイ株式会社 ■日研トータルソーシング株式会社 ■株式会社アスパーク ■ディーピーティー株式会社 ■淀川ヒューテック株式会社 ■株式会社日本技術センター ■株式会社2りんかんイエローハット ■島津トラステック株式会社 ■本四高速道路ブリッジエンジ株式会社 ■株式会社Wave Technology ■株式会社澤村 ■松菱運輸株式会社 ■株式会社プレジオ ■朝陽電気株式会社 ■元古鉄工株式会社 ■株式会社ベッセル工業 ■BEMAC Kiden株式会社 ■株式会社JR西日本ITソリューションズ ■サラヤ株式会社 ■株式会社日本電機研究所 ■大阪精工株式会社 ■三星ダイヤモンド工業株式会社 ■株式会社ホンダテクノフォート ■株式会社NTTデータMHIシステムズ ■リクロー株式会社 ■新教育総合研究会株式会社 ■株式会社坂本金型工作所 ■上林建設株式会社 ■中辻産

業株式会社 ■ウイルテック株式会社 ■株式会社アットキヤド ■日本電音株式会社 ■テクノロール株式会社 ■カシハラ鐵構株式会社 ■株式会社キャンドウコンセプト ■関西総合システム株式会社 ■テクノスペース・クリエイツ株式会社 ■株式会社ユタニ ■伊予電機株式会社 ■株式会社京伸 ■株式会社伸和製作所 ■株式会社司構造計画 ■エイトビット株式会社 ■アイデアル株式会社 ■友栄食品興業株式会社 ■株式会社アクシアソフトデザイン ■クボタ機械設計株式会社 ■株式会社オージーケーカブト ■茨木精機株式会社 ■株式会社コスモテック ■株式会社ヨシザワ建築構造設計 ■株式会社GSP ■扇鋼材株式会社 ■九興総合設備株式会社 ■村瀬炉工業株式会社 ■京都精工電機株式会社 ■株式会社荻田建築事務所 ■親和電気株式会社 ■株式会社汎設計 ■株式会社レック ■株式会社sa i 総合企画 ■ダックエンジニアリング株式会社 ■株式会社アートウインズ ■株式会社ルポハウス ■ナグシステム株式会社 ■株式会社クラッキ ■防衛省自衛隊 ■ブライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社 ■特別区人事委員会 ■SOL I Z E株式会社 ■一般財団法人関西電気保安協会 ■寝屋川市役所 ■御所市役所 ■白坂運送 ■日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社 ■有限会社荒井設計事務所 ■水土里ネットおきなわ ■株式会社アストアブランニング ■株式会社明治大理石 ■大阪府教育委員会 ■SETソフトウェア株式会社 ■神戸市教育委員会 ■株式会社LB ■ニデックテクノモータ株式会社 ■平安女学院中学高等学校 ■大阪市役所 ■兵庫県教育委員会 ■京都精工電機 ■井川園芸 ■株式会社東洋金属工業所 ■三陽工業株式会社

【情報通信工学部】

■株式会社NTTドコモ ■西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本) ■三菱電機株式会社 ■株式会社小松製作所 ■株式会社オブテージ ■トランスコスモス株式会社 ■ダイハツ工業株式会社 ■富士ソフト株式会社 ■住友電装株式会社 ■理想科学工業株式会社 ■NECネットエスアイ株式会社 ■日本コムシス株式会社 ■日本電設工業株式会社 ■ヤフー株式会社 ■株式会社プレサンスコーポレーション ■株式会社NSD ■株式会社ミライト・ワン ■エクシオグループ株式会社 ■NDS株式会社 ■NSW株式会社 ■中西金属工業株式会社 ■フジプレアム株式会社 ■東テック株式会社 ■NX・NPロジスティクス株式会社 ■株式会社システナ ■日本電通株式会社 ■株式会社KSK ■株式会社キューブシステム ■寺崎電気産業株式会社 ■株式会社三ツ星 ■新生テクノス株式会社 ■AKKOD i コンサルティング株式会社 ■株式会社ソフトウェア・サービス ■AJS株式会社 ■UTテクノロジー株式会社 ■株式会社システムリサーチ ■株式会社平山 ■パースルクロステクノロジー株式会社 ■株式会社アウトソーシングテクノロジ ■住友電工システムソリューション株式会社 ■株式会社Link-U ■三興コントロール株式会社 ■システムギア株式会社 ■株式会社ワールドインテック ■Sky株式会社 ■CTCテクノロジー株式会社 ■株式会社コア ■株式会社エスユーエス ■アブライド株式会社 ■SGシステム株式会社 ■岡谷エレクトロニクス株式会社 ■株式会社日本ビジネス開発 ■スタッフサービスエンジニアリング ■浅海電気株式会社 ■株式会社アルトナー 大阪本社 ■株式会社ビーネックステクノロジーズ ■WDB工学株式会社 ■株式会社オービーシステム ■株式会社SHINKO ■株式会社ウイルテック ■株式会社メイテックフィルダーズ ■株式会社フォーラムエンジニアリング ■株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社 ■株式会社テクノプロ テクノプロ・エンジニアリング社 ■トーテッ

クアメニティ株式会社 ■大阪ガスビジネスクリエイト株式会社 ■株式会社シー・エス・イー ■TISシステムサービス株式会社 東京本社 ■コムシス株式会社 ■株式会社NTTデータNJK ■株式会社アブリス ■日本ビルコン株式会社 ■株式会社ミライト・ワン・システムズ ■三笠産業株式会社 ■株式会社CIJネクスト ■株式会社SIG ■株式会社NTTデータSBC ■アンドール株式会社 ■株式会社DTS WEST ■株式会社システムコーディネイト ■株式会社ケーケーシー情報システム ■株式会社クロスユーアイエス ■大日通信工業株式会社 ■アイテック株式会社 ■パースルクセルHRパートナーズ株式会社 ■西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社 ■株式会社ITP ■株式会社ユー・エス・イー ■エムテック株式会社 ■日本アクティ・システムズ株式会社 大阪本社 ■日本システムワープ株式会社 ■ジャトー株式会社 ■株式会社プレジィール ■中央コンピューター株式会社 ■株式会社デザインネットワーク ■センコー情報システム株式会社 ■株式会社万代 ■理化工業株式会社 ■コムシスマバイル株式会社 ■日研トータルソーシング株式会社 ■株式会社日本ビジネスデータープロセシングセンター ■ディーピーティー株式会社 ■株式会社日本技術センター ■株式会社アール・エム ■株式会社ベルチャイルド ■TBKエアポートグラウンドサービス株式会社 ■株式会社KYOSOテクノロジー ■関西保温工業株式会社 ■水戸工業株式会社 ■株式会社ネオ ■株式会社oneA ■株式会社エイコーシステムクリエイツ ■株式会社友電舎 ■株式会社ケー・エス・ディー ■データプロセス株式会社 ■株式会社日新システムズ ■株式会社アップロード ■システムテクニカルサービス株式会社 ■株式会社ニューリー・土山 ■セブンスシステム株式会社 ■株式会社KSC ■株式会社阪電工 ■昭和コンピュータ株式会社 ■昌立工業株式会社 ■株式会社ウェブストリーム ■チームラボ株式会社 ■株式会社スタイル・フリー ■株式会社エヌエスピージャパン ■株式会社阪栄マネージメント ■株式会社シービジョン ■株式会社シーズ ■株式会社コンピューターエンゼルス ■エコトラスト株式会社 ■大阪府警察本部 ■滋賀県警察本部 ■有限会社ユウキ ■アマゾン ウェブサービス ジャパン合同会社 ■大阪府教育委員会 ■Evand株式会社 ■ちゅらデータ株式会社 ■株式会社ライトコード

【医療健康科学部(医療福祉工学部)】

■西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本) ■住友電気工業株式会社 ■青山商事株式会社 ■グローリー株式会社 ■稲畑産業株式会社 ■株式会社ヤナセ ■大林道路株式会社 ■株式会社立花エレテック ■わかやま農業協同組合 (JAわかやま) ■ダイレックス株式会社 ■株式会社フィリップスジャパン ■学校法人京都黎明学院 京都芸術高等学校 ■大阪トヨタ自動車株式会社 ■ソレキア株式会社 ■地方独立行政法人奈良県立病院機構 ■株式会社タカトリ ■株式会社ロゴスコポレーション ■旭情報サービス株式会社 ■旭精工株式会社 ■株式会社エヌアイディ ■株式会社一条工務店 ■SANE I株式会社 ■西日本高速道路メンテナンス関西株式会社 ■株式会社ACN ■医療法人社団淀さんせん会 金井病院 ■医療法人厚生医学会 厚生会第一病院 ■医療法人医誠会 摂津医誠会病院 ■日本ステリ株式会社 ■山本光学株式会社 ■株式会社松井製作所 ■社会医療法人ベガサス 馬場記念病院 ■株式会社SHINKO ■コロカ株式会社 ■大和ガス株式会社 ■株式会社メイテックフィルダーズ ■医療法人藤井会 石切生喜病院 ■株式会社トヨタレンタリース大阪 ■日本情報産業株式会社 ■島津メディカルシステムズ株式会社 ■日本賃貸保証株式会社 ■株式会

トップエンジニアリング■医療法人社団恵心会 京都武田病院■マツ六株式会社■大同塗料株式会社■マルウ接着株式会社■ミナト医科学株式会社■医療法人暁美会 田中病院■株式会社昭栄■若井ホールディングス株式会社■宮野医療器株式会社■株式会社湯山製作所■株式会社ダンロップタイヤ■開明伸銅株式会社■株式会社アダチ■株式会社nobitel Dr. ストレッチ■医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院■幸南食糧株式会社■洛和会ヘルスケアシステム SEAVAC株式会社■株式会社ニッシン■株式会社島津アクセス■医療法人社団誠仁会 みはま病院■神戸トヨペット株式会社■小西医療器株式会社■パナソニック防災システムズ株式会社■富士電機産業株式会社■株式会社鳥芳■東洋技研株式会社■ワタキューセイモア株式会社■進和鉄工株式会社■株式会社oneA■株式会社アイコンホールディングス■株式会社富士昭サンマテック■株式会社マツミ■株式会社崇和■株式会社繁原製作所■新光電気工業株式会社■株式会社カクヤスグループ■社会福祉連携推進法人日の出医療福祉グループ■トヨタモビリティ新大阪株式会社■泉工医科工業株式会社 医療法人和合会 和合病院■ダイキン油圧エンジニアリング■株式会社ガイドー■ソーワエンジニアリング株式会社■医療法人弘和会 いわさきクリニック■株式会社エリッツ■ALSOK大阪株式会社■株式会社阪電工■医療法人せいわ会 大阪たつみりハビリテーション病院■阪神高速パトロール株式会社■福田総合病院■株式会社ナイン■新日本住設WEST株式会社■株式会社大和マーク製作所■三泰工業株式会社■医療法人社団岡田会 山の辺病院■株式会社ロジカルスタジオ■市立奈良病院■警視庁■東京消防庁■社会医療法人愛仁会 医療法人医仁会 武田総合病院■社会医療法人美杉会 日本赤十字社 大阪赤十字病院■医療法人錦秀会 阪和第二泉北病院■一般財団法人住友病院■独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター■社会福祉法人ラポール会 社会医療法人愛仁会 井上病院■社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会富田林病院■社会福祉法人淳風会 社会医療法人信愛会 交野病院■社会福祉法人玉美福祉会 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター■医療法人晴心会 野上病院 医療法人啓信会 大阪整形外科病院■社会医療法人ONE FLAG おおさかグローバル整形外科病院■社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院■医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院■学校法人洛陽総合学院 洛陽総合高等学校■豊中千寿園■株式会社マスタニテック■有限会社大匠■社会医療法人生長会 ベルピアノ病院 社会医療法人きつこう会 多根総合病院

【総合情報学部】

■株式会社神戸製鋼所■ソフトバンク株式会社■株式会社ヤマダホールディングス■日亜化学工業株式会社■関西電力送配電株式会社■株式会社カプコン■トランスコスモス株式会社■近畿産業信用組合■株式会社島精機製作所■株式会社エディオン■株式会社平和堂■株式会社ゲオホールディングス■株式会社ネクステージ■ナカバヤシ株式会社■株式会社シーイーシー■株式会社ノジマ■株式会社DTS■株式会社立花エレテック■株式会社デンソーテン■株式会社レッドバロン■株式会社IDOM■ダイレックス株式会社■株式会社カインズ■株式会社日立産業制御ソリューションズ■フクシマガリレイ株式会社■株式会社ジャステック■株式会社ティーツー■近鉄ケーブルネットワーク株式会社■株式会社キューブシステム■株式会社テラ

スカイ■AKKODiSコンサルティング株式会社■株式会社マイスターエンジニアリング 大阪本社■三菱電機ソフトウェア株式会社■アルファテック・ソリューションズ株式会社■株式会社ソフトウェア・サービス■旭情報サービス株式会社■株式会社菱友システムズ■UTコネクト株式会社■UTエイム株式会社■UTテクノロジー株式会社■さくら情報システム株式会社■株式会社システムリサーチ■株式会社平山■株式会社ランテック■富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社■株式会社アクティオ■アピリオ債権回収株式会社■パーソルクロステクノロジー株式会社■株式会社アウトソーシングテクノロジー■SocioFuture株式会社■日本コンピューターサイエンス株式会社 大阪本社■株式会社Link-U■システムギア株式会社■株式会社ワールドインテック■Sky株式会社■利昌工業株式会社■株式会社シェル石油大阪発売所■株式会社エスユーエス■株式会社OKIソフトウェア■アプライド株式会社■株式会社ヒップ■日本事務器株式会社■CLINKS株式会社■大阪シーリング印刷株式会社■株式会社NTTデータMSE■株式会社スタッフサービス■株式会社ニッセイコム■T&D情報システム株式会社■株式会社ディ・アイ・システム■プログレス・テクノロジーズ株式会社■株式会社アルトナー■ワールドビジネスセンター株式会社■WDB工学株式会社■株式会社オービーシステム■桃栄金属工業株式会社■株式会社SHINKO■医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院■株式会社ウイルテック■ARアドバンステクノロジー株式会社■株式会社メイテックフィルダーズ■株式会社フォーラムエンジニアリング■株式会社テクノプロテクノプロ・デザイン社■株式会社ヤマダデンキ■株式会社関西スーパーマーケット■日本マニファクチャリングサービス株式会社■株式会社シムックス■東京コンピュータサービス株式会社■株式会社Works Human Intelligence■TISシステムサービス株式会社 東京本社■ユニバーサルコンピューター株式会社■株式会社CIJネクスト■株式会社ナップス■株式会社NTTデータニューソン■株式会社TREE Digital Studio■株式会社日本テクノス■阪神輸送機株式会社■株式会社ココト■三友株式会社■ヤマトミシン製造株式会社■ダイコロ株式会社■株式会社スーパーサンエー■株式会社グラフィック■大勝建設株式会社■パーソルエクセルHRパートナーズ株式会社■株式会社オンテックス■サービス&セキュリティ株式会社■井原築炉工業株式会社■アビームシステムズ株式会社■株式会社EMD■西日本電気システム株式会社■ナビオコンピュータ株式会社■インターネットウェア株式会社■株式会社栗菱コンピューターズ■日本システムワープ株式会社■株式会社エスエフシー新潟■ライクスタッフィング株式会社■株式会社ブレーンズ■株式会社コープムービング■式会社菱友システム技術■泉洋港運株式会社■日研トータルソーシング株式会社■株式会社アスパーク■トヨタユニテッド奈良株式会社■株式会社アサヒディード■株式会社日本技術センター■株式会社ティエム2■Happy Elements株式会社■株式会社プロアシスト■Gateテクノロジーズ株式会社■水戸工業株式会社■ヤマコー株式会社■株式会社タクト・マシン・サービス■株式会社電算情報技研■エンゼルグループ株式会社■株式会社アイチケン■医療法人協仁会 小松病院■株式会社ケー・エス・ディー■株式会社フジデン■株式会社オニオン■株式会社アルク■株式会社ヨドバシカメラ■株式会社アソウ・アルファ■株式会社日新システムズ■株式会社ガイドー■システムテクニカルサービス株式会社■株式会

社エフエスティ■株式会社ラディアント・ソリューションズ■ジョー・プリンス竹下株式会社■株式会社ウィットスタジオ■株式会社関西東通■NGM株式会社■株式会社ディー・オー・エス■ジャパニアス株式会社■石黒メディカルシステム株式会社■株式会社NECT■株式会社ユニスティ■エンド商事株式会社■株式会社経営情報センター■日本マイクロシステムズ株式会社■株式会社総合企画■株式会社赤路電気水道■株式会社エイチ・アイ・ティ■フジカ株式会社■株式会社中島大祥堂■エクセルコンピュータサービス株式会社■オークラ工業株式会社■ソフトキューブ株式会社■株式会社エクセル・クリエイツ■株式会社アストロステージ■大京システム開発株式会社■CLINKS株式会社■システム・エボリューション株式会社■株式会社二川工業製作所■株式会社D・A・G■株式会社新日本ニーズ■神戸アドテック株式会社■エンゼルトランプ株式会社■株式会社オーアイエスコム■株式会社SALTO■株式会社J&C■SOLUTION株式会社■コンサルリンク イートレックトライズ株式会社■株式会社Be■株式会社プロテック■株式会社ストーム■株式会社イードクトル■日本システムデザイン株式会社■株式会社ファーストストーン■株式会社エム企画■株式会社ジェイ・エム■株式会社ビットグルーヴ■有限会社吉野ジーピーファーム■株式会社インディーズゼロ■有限会社ニシムラサービス■株式会社SAFEHOUSE■株式会社きんそく家屋調査■株式会社スパーククリエイティブ■81ドローン株式会社■株式会社HIT■株式会社SoCoGroup■自営 (Youtuber兼トレーダー)■一般社団法人なかの屋釣鐘町■株式会社Bay bridge■株式会社IEM■自営 (動画編集・Webデザイン)こころざ志■防衛省 陸上自衛隊v株式会社ロジスティックス■DICO株式会社■株式会社コグマ

【大学院】

■積水ハウス株式会社■株式会社カプコン■ダイハツ工業株式会社■富士ソフト株式会社■株式会社東海理化電機製作所■住友電装株式会社■株式会社奥村組■東芝三菱電機産業システム株式会社■フジテック株式会社■三井住友建設株式会社■京セラドキュメントソリューションズ株式会社■ダイワボウ情報システム株式会社■日本コムシス株式会社■ニデックオーケーケー株式会社■三機工業株式会社■株式会社NSD■NSW株式会社■株式会社三社電機製作所■株式会社テクノ菱和■東レエンジニアリング株式会社■東芝情報システム株式会社■三菱電機ソフトウェア株式会社■株式会社カワタ■株式会社ソフトウェア・サービス■SEMITEC株式会社■デジタルアーツ株式会社■株式会社ニプロン■株式会社エネゲート■ヌヴォトンテクノロジージャパン株式会社■アクセンチュア株式会社■株式会社金剛組■大塚電子株式会社■ジェイズ・コミュニケーション株式会社■株式会社ニュージェック■パナソニックシステムデザイン株式会社■株式会社ウイルテック■株式会社メイテックフィルダーズ■東京水道株式会社■株式会社ジール■株式会社東畑建築事務所■株式会社システムコーディネイト■朝日レントゲン工業株式会社■株式会社オンテック■アイシン・ソフトウェア株式会社■豊国製油株式会社■株式会社湯山製作所■バルテス株式会社■株式会社コスモテック■富士電子工業株式会社■大王電機株式会社■株式会社マクシスエンジニアリング■株式会社山岡製作所■株式会社昭和設計■島津トラステック株式会社■株式会社目方鉄工所■茨木精機株式会社■昭和コンピュータ株式会社■株式会社東洋設計事務所■神戸アドテック株式会社■パナソニックインダストリー株式会社■一般財団法人住友病院■メディカル朋株式会社■株式会社アエクス

24卒学生の就職を取り巻く環境と求める人物像 ～ 本学就職部の取材を通じて ～

年々早期化する就職活動、24卒学生も例外なく早い時期から就職活動が始まりました。本学のキャリア教育「インターンシップ」(3年次に実施)はもちろんのこと、1年次2年次でも参加できるイベントも増加し、企業の学生確保が激化しています。本学の求人数も243,095名(2024年1月31日現在)にのぼり、昨年の205,425名(2023年1月31日現在)と比べ多くの求人をいただいている状況です。

また、企業向けアンケートの結果では、**新卒採用で重視される資質、能力は「チームワーク」「主体性」が上位をしめています。**この結果を意識し、本学でもチームワークをはぐくむことのできるキャリア教育を行っていきたいです。

■就職者数など (2024年2月1日現在)

	在籍者	卒業見込者	就職希望者	就職者	進学者	就職率	進路決定率
工学部	461	451	409	367	20	89.7	85.8
情報通信工学部	221	216	202	183	12	90.6	90.3
医療健康科学部 (医療福祉工学部)	181	181	158	129	14	81.6	79.0
総合情報学部	259	355	323	278	9	86.1	80.8
学部 合計	1222	1203	1092	957	55	87.6	84.1
大学院(前期課程)	63	63	60	54	0	90.0	85.7

就職者÷就職希望者 (就職者+進学者)÷卒業者

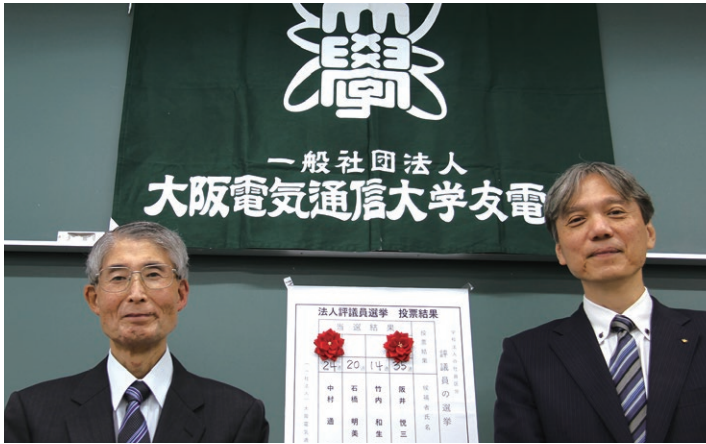
学校法人大阪電気通信大学評議員会 卒業生代表評議員の選出

次期代表評議員を紹介します。

任期満了(2024年3月7日付)を迎える卒業生代表評議員選挙は、去る2023年10月に公示され社員区分から2名を選出する選挙が実施された。

同年11月、郵便による投票と直接投票により次の方々が当選された。会員の皆様へお知らせ致します。

〔評議員任期〕2024年3月8日から



中村 通 氏

- 1950年1月生
- 工学部 電子工学科8期卒

【経歴】

朝日レントゲン工業株式会社入社 技術部勤務
常務取締役 開発・営業統括
代表取締役社長
相談役後 他社顧問就任

【友電会歴】

京都支部監事

【抱負】

昨年の大学法人評議員選挙への立候補抱負でも記しましたように、大学の興隆を一層促すために大阪電気通信大学としては今以上に地域、全国に向け情報を発信、コラボレーションしていく必要があります。それは、大学の安定した運営に向け、入学を希望する学生数を一定以上確保するためです。大学の運営資金の大半は、学生が納付する授業料で賄われています。資料によれば、私立大学でのその額は8割近くに上ります。少子化が叫ばれて久しい今、その必要額を維持することは年を追うごとに難しさを増しています。

入学希望者数を増やすには、受験生の気持ちを引き付けることが不可欠です。本学では理事長をはじめ関係者の不断の取り組みにより、新しい時代に相応しい大学キャンパスが作られ、十分に入学希望者を魅了する様相を備えており、次代へ挑戦的に踏み出す準備ができています。加えて、大学の研究、技術開発成果などを広く発信する取り組みをより一層強化できれば、入学希望者増を図るための相乗効果に繋がります。私は、この種の課題に対し、評議員として尽力する所存です。

阪井 悦三 氏

- 1957年12月生
- 工学部 通信工学科16期卒

【経歴】

全日本テレビサービス株式会社入社 大阪支社勤務技術課
AV技術部等を経て大阪総支社 マルチメディア・映像技術部
副部長就任 営業部部長 副支社長
関西支社長後 執行役員

【友電会歴】

東京支部副支部長

【抱負】

この度、学校法人評議員に友電会代表の一人として就任いたしました阪井と申します。よろしく願いいたします。

私は、これまで技術現場、社員教育、経営、企業合併など幅広い業務に携わりつつ、アンフォーマルではありますが青少年教育にも取り組んで参りましたが、これらの経験を活かし、母校の発展に貢献できるよう尽力いたします。

近年、私立大学を取り巻く環境は、少子化、多様化、国際化、ガバナンス強化など、様々な変化と課題に直面しております。

理事長をはじめ関係者の皆様は日々これらの課題に取り組んでおられますが、法人評議員として私もその一端を担い、母校の未来に貢献できるよう責任の重さをひしひしと感じております。

卒業生としての視点と社会人・企業人の視点を持ち、学生および社会のニーズに照らしながら、友電会代表としての誇りを胸に、母校の活動を支援して参ります。

皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【お知らせ】 理事区分代表評議員は、引き続き、廣瀬一夫会長、深野隆司副会長、廣谷明理事が努めます。また、法人理事には、大下真二郎が就任いたします。

2022年～2023年度 【一社友電会社員一覧】

社員の勇退と新社員就任

※社員数は、卒業生対して1/500の割合とする。

E01	大角 武紘
E01	羽渕 完俊
E01	宮崎 孝
E02	池本 善一
E02	福田 武
F02	猿渡 洋
F02	吉田 栄治
F03	菅野 和夫
F03	三橋 長夫
F03	佐藤 功
E04	中西 義一
F04	大下 真二郎
E04	辻 勝久
E04	舘野 福太郎
E04	鈴木 顕広
F05	岩本 吉男
F05	山口 朝弘
F05	山本 弘
G05	高岡 亨
G05	堀内 定夫
I05	池田 清
I05	吉川 博史
G05	堀井 浩
E05	中野 正三
G05	香西 順治
E05	榊原 和弘
E06	兵藤 敏夫
F06	段安 義彦
F06	中山 修
G06	大下 正二郎
G06	森川 佳宥
H06	北川 昇
I06	藤本 明
F07	志村 哲樹
F07	田谷 利明
F07	野田 鐘一
F07	廣瀬 一夫
I07	平岡 臨
F07	本多 昭文
E08	石川 智之

E08	水谷 元也
G08	幸田 秀雄
H08	鎌谷 英一
I08	宇野 茂嗣
I08	船越 亨
I08	芳山 和久
I08	玉井 朗雄
E08	中村 通
H08	大平 富義
G09	大音 博司
I19	深野 隆司
H09	森 和明
I09	平林 一夫
I09	工藤 英男
I10	北地 憲治
E10	山崎 貞彦
I10	佐藤 涉一
G10	上田 守
F11	松田 啓
H11	岡本 清孝
E11	新 義孝
F12	内野 正道
F12	廣谷 明
H12	小林 守正
H12	塩田 善裕
H13	辻 佳彦
H13	松井 俊樹
F14	山崎 敏之
H14	堀江 健二郎
H14	津本 雅章
E14	園田 明雄
F15	藤井 耕一
F15	宮條 研次
H15	神山 清明
I15	沖 洋一
H16	幸村 常一
K16	菅 勝彦
K16	三宅 一宏
F16	阪井 悦三
G16	杉本 敢

I16	横山 宏
H17	澤居 比佐夫
I18	小山 哲央
F19	竹田 治英
H20	奥田 裕
G21	杉田 吉広
H21	坂本 充
J21	坂手 宏行
E22	藤田 英治
I23	竹内 和生
K23	蕭 炯森
H23	二石 記人
G24	澤井 剣
K24	森脇 憲治
I25	石橋 明美
F26	松崎 真典
F26	西尾 博道
E28	早野 秀樹
F28	清水 良
K29	川崎 哲夫
M31	新川 拓也
G31	芥川 善行
D32	中田 亮生
D32	植野 雅之
D33	柴垣 佳明
M36	金野 洋明
K36	古本 賢二
M37	上川 直紀
D38	阿南 景子
P39	澤田 正雄
M40	三上 哲夫
M41	西川 達也
L41	越野 八重美
L42	山下 光美
L44	岡崎 浩也
L44	河合 俊明
W54	根岸 大樹
全117名	

2024年度 【一社友電会社員一覧】		
社員の勇退と新社員就任		
E01 大角 武紘	H08 大平 富義	F22 岩野 敬一
E01 羽瀧 完俊	F08 小倉 澄男	I23 竹内 和生
E02 池本 善一	G09 大音 博司	K23 蕭 炯森
E02 福田 武	I19 深野 隆司	H23 二石 記人
F02 猿渡 洋	H09 森 和明	G24 澤井 剣
F03 菅野 和夫	H09 安部 喜美雄	K24 森脇 憲治
F03 三橋 長夫	E10 北地 憲治	I25 石橋 明美
F03 佐藤 功	E10 山崎 貞彦	F26 西尾 博道
F03 廣沢 洋	F11 松田 啓	E28 早野 秀樹
E04 中西 義一	H11 岡本 清孝	F28 清水 良
F04 大下 真二郎	E11 新 義孝	M31 新川 拓也
E04 辻 勝久	F12 廣谷 明	G31 芥川 善行
E04 観野 福太郎	H12 小林 守正	D32 中田 亮生
E04 鈴木 顕広	H12 塩田 善裕	D32 植野 雅之
F05 岩本 吉男	H13 辻 佳彦	D33 柴垣 佳明
F05 山口 朝弘	H13 松井 俊樹	I33 長谷川 慎二
F05 山本 弘	F13 田嶋 正彦	E33 中井 匡斉
G05 堀内 定夫	I13 福田 真規夫	M36 金野 洋明
I05 池田 清	F14 山崎 敏之	K36 古本 賢二
I05 吉川 博史	H14 堀江 健二郎	M37 上川 直紀
G05 香西 順治	E14 園田 明雄	J37 岩村 真吾
E05 榊原 和弘	E14 生田 謙二	M37 勝間 智康
E06 兵藤 敏夫	F15 藤井 耕一	D38 阿南 景子
F06 中山 修	F15 宮條 研次	M40 三上 哲夫
G06 大下 正二郎	H15 神山 清明	M41 西川 達也
G06 森川 佳宥	I15 沖 洋一	L41 越野 八重美
H06 北川 昇	H16 幸村 常一	L42 山下 光美
I06 藤本 明	K16 菅 勝彦	L44 岡崎 浩也
F06 小松 周治	K16 三宅 一宏	L44 河合 俊明
F07 田谷 利明	F16 阪井 悦三	U54 朝日 麻衣
F07 野田 鐘一	G16 杉本 敢	P54 住田 直幸
F07 廣瀬 一夫	I18 小山 哲央	H54 神宇知 一樹
I07 平岡 臨	F19 竹田 治英	U55 持木 由香
E08 水谷 元也	F19 梅田 弘	F56 大神 爽平
G08 幸田 秀雄	H20 福井 亨	全114名
H08 鎌谷 英一	G21 杉田 吉広	
I08 宇野 茂嗣	H21 坂本 充	
I08 船越 亨	J21 坂手 宏行	
I08 芳山 和久	F21 福岡 正信	新規に20名の会員が
E08 中村 通	E22 藤田 英治	社員に推薦された。

住所変更の手続きについて(お願い)

友電会からお送りします広報誌「ゆうでんかい」は、卒業後3年間は皆様のお住いに届けられるようにしています。残念なことに、在学中に住んでおられたままのご住所だと宛先不明等により友電会事務局に返送されてきます。

ここでお願いです。

ご住所を変更されましたら必ず友電会事務局にご連絡ください。

ホームページからが便利です

<https://www.yudenkai.or.jp> 大阪電気通信大学友電会 🔍検索

FAX・郵送・電話・メールでも受付します

下記のフォームに必要事項を記入していただき連絡してください。

[FAX] 072(824)1197 [電話] 072(824)3111

[e-mail] info@yudenkai.or.jp

[住所] 〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8
一社法人大阪電気通信大学友電会



お名前 必須

例) 友電 太郎

フリガナ

例) ユウデン タロウ

卒業年・学部

例) 1990年3月卒業 工学部

メールアドレス 必須

新友電会員に
なられた
みなさまへ

卒業後も、大学で利用できるサービスがあります

卒業後も大学を利用しよう

●友電会事務局のご利用

寝屋川キャンパスL号館には同窓会室「友電会」事務局を設置しています。四條畷キャンパスで過ごされた方も、ぜひ、寝屋川キャンパスにお越しください。

友人との待ち合わせやくつろぎ、卒業生の情報交換などにご利用ください。

●開局時間／10:00～17:00

●電話／072(824)3111

●e-mail／info@yudenkai.or.jp

●図書館のご利用

余暇時間を有意義に過ごしたいとお考えの方には、母校の図書館をご利用いただけます。

蔵書の図書・雑誌での調査・研究、生涯学習としてご利用なされてはいかがでしょうか。

卒業生には、卒業生の利用登録が必要です。

【必要な登録手続き】

J号館（寝屋川学舎）図書館のカウンターで手続きを行ってください。

①「学外利用者申請書」に必要事項をご記入

②本人確認ができる書類（運転免許証等）ご提示

③利用には「当日のみ」と「通年利用」の2種類があります。

【開館時間・休刊】

母校ホームページ内図書館webサイトの開館時間のページをご参照ください。



●各種証明書の発行

遠方にお住まいもしくはご勤務されている方でも、大学に来ることは必要ありません。証明書を

お近くで受け取っていただくサービスをしています。

【webでの申し込みと発行証明証の種類】

①卒業／修了証明書

②学業成績証明書

③在籍証明書

④単位修得証明書

詳細をお知りになりたい方は、大学ホームページ「各種証明書の発行」を検索されるか大学担当部（学務課）へおたずねください。

大阪電気通信大学 学務課

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8

〔TEL〕072-813-7588（直）

平日9:00～17:00（13:00～14:00は除く）

読者・投稿者にプレゼント

① 仮称「私にとっての四條畷キャンパス」
大学で過ごした歳月は、かけがえのない友人との出会いがあったという人もいることでしょう。学生生活のエピソード話を応募します。

② 「活躍する大電大先輩」紹介してください
会誌やホームページに記載いたします。

投稿をお願いします

テーマは自由です。郵便番号、住所、氏名、年齢、卒期、学科、氏名に連絡先メールアドレスをお書きになり、友電会事務局にお寄せください。

なお、提出は、随時受付中

送り先／一社友電会 事務局 御中

アドレス／info@yudenkai.or.jp

友電会支部組織の活動報告

友電会の支部は、地域や職業でつながる組織。各地で特色ある活動をおこなっている。是非、新卒業生や準会員の方々もご参加ください。

2023
5/21
〔日〕

医療福祉の会
●会場／電通大寝屋川学舎Y号館
●内容／医療現場からの実践報告
●支部長／岡崎 浩也【L44】

2023
6/4
〔日〕

電建会 大阪電気通信大学 建築の会
●会場／電通大寝屋川学舎J号館
●内容／設立総会&展示案内
オープンキャンパスで作品展示
●支部長／松本 康平【C58】

2023
7/29
〔土〕

関東総支部
●会場／文教シビックセンター
●内容／本会のミッション確認と情報共有
●支部長／神山 清明【H15】

千葉支部

●会場／文教シビックセンター
●内容／通常総会
●支部長／神山 清明【H15】

ワンダーフォーゲル部OB会

●会場／北アルプス上高地
●内容／隔年開催、友情と親睦
●支部長／阪口 雅【E08】

2023
10/7
〔土〕

神戸支部
●会場／三田しいたけ園有馬富士
●内容／しいたけ狩りと会食
●支部長／幸村 常一【H16】

北関東支部

●会場／大宮情報文化センター他
●内容／母校講師を招き学術講演会
「プログラミング教育における本学の取組み」
大村 基将 氏
●支部長／坂手 宏行【J21】

東海支部

●会場／東海市芸術劇場
●内容／バイオリンコンサート
●支部長／藤田 英治【E22】

2023
10/14
〔土〕

大阪支部
●会場／新宿ごちそうや
●内容／あべのハルカス展望と講演
準会員との交流会
●支部長／平岡 臨【I07】

九州支部

●会場／福岡サンパレスホテル
●内容／通常総会
●支部長／小松 周治【F06】

2023
10/22
〔日〕

茨城支部
●会場／アサヒビール茨城工場他
●内容／工場見学会
●支部長／塩田 善裕【H12】

2023
10/28
〔土〕

京都支部
●会場／京都からすまホテル
●内容／学生グループ「自由工房」の
プロジェクト紹介
●支部長／兵藤 敏夫【E06】

2023
11/18
〔土〕

奈良支部
●会場／橿原オークホテル
●内容／環境保全に役
会員講演「放置竹林の再生紹介」
●支部長／松井 俊樹【H13】

2023
11/25
〔土〕

びわこ支部
●会場／聖徳太子ゆかりの地
●内容／没1400年催し訪問
●支部長／堀江 健二郎【H14】

神奈川支部

●会場／三溪園ほか
●内容／三溪園散策
●支部長／田谷 利明【F07】

2023
12/9
〔土〕

東京支部
●会場／都市センターホテル
●内容／基調講演と学園近況レポート
「東証1部への道のり」中野 正三 氏
●支部長／蕭 焜森【K23】

支部総会の開催日が重なったことに調整されることを望む声が多く聴かれた。